

元副市長が教えるRESAS分析術

～京都府亀岡市にいた2年間～

【内容】

RESASを使った分析術を知る

【目的】

まちづくりを進める上で、

あなたのまちの全体像を知り、

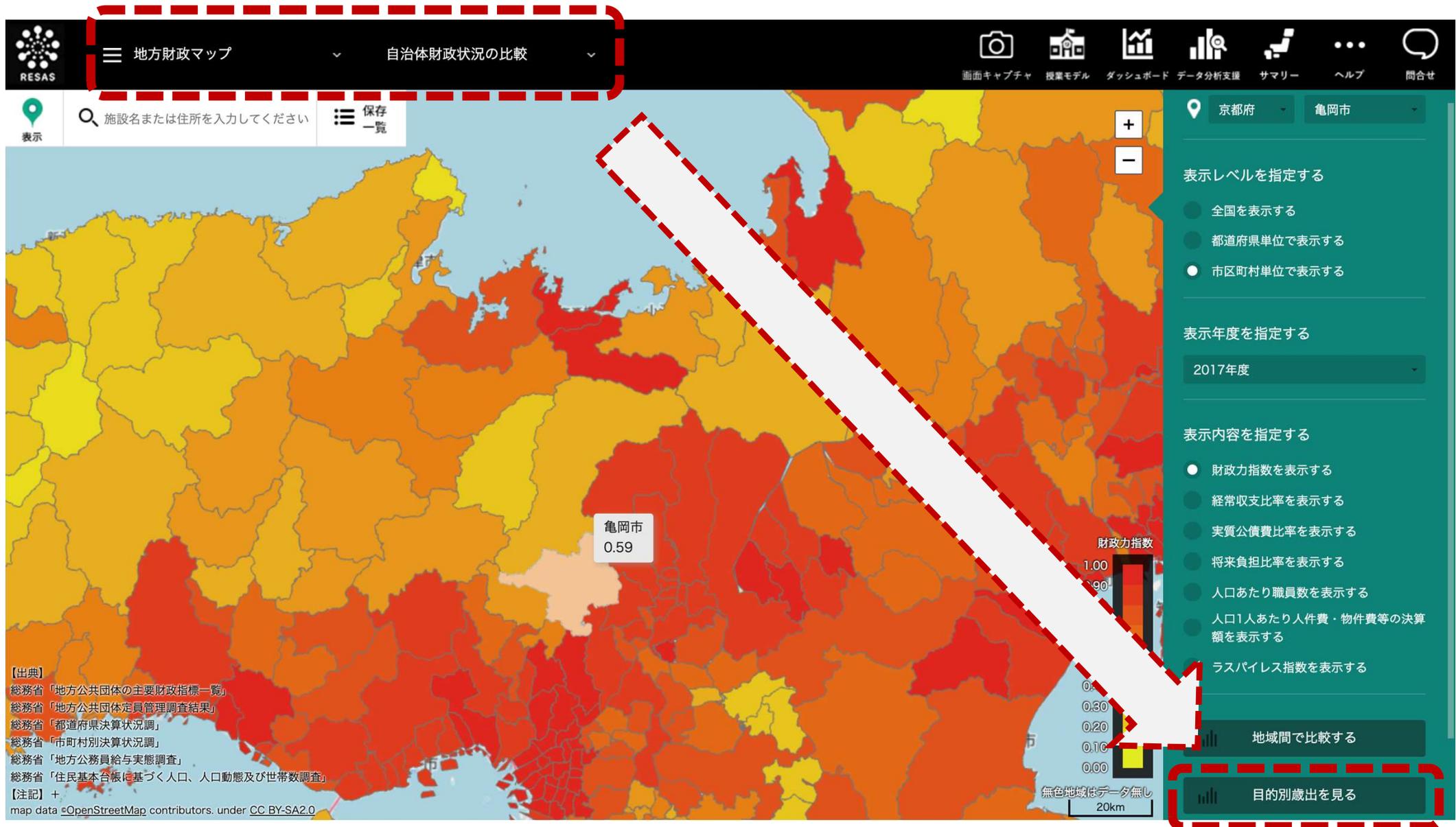
やるべきことの**方向性**を議論するため。

問. あなたは、どれくらい**まちのこと**を分かっていますか？

問. **客観的な数字**や**分かりやすいグラフ**を用いて、人と議論し、まちの**課題を共有**できていますか？

例えば…RESASの地方財政マップ

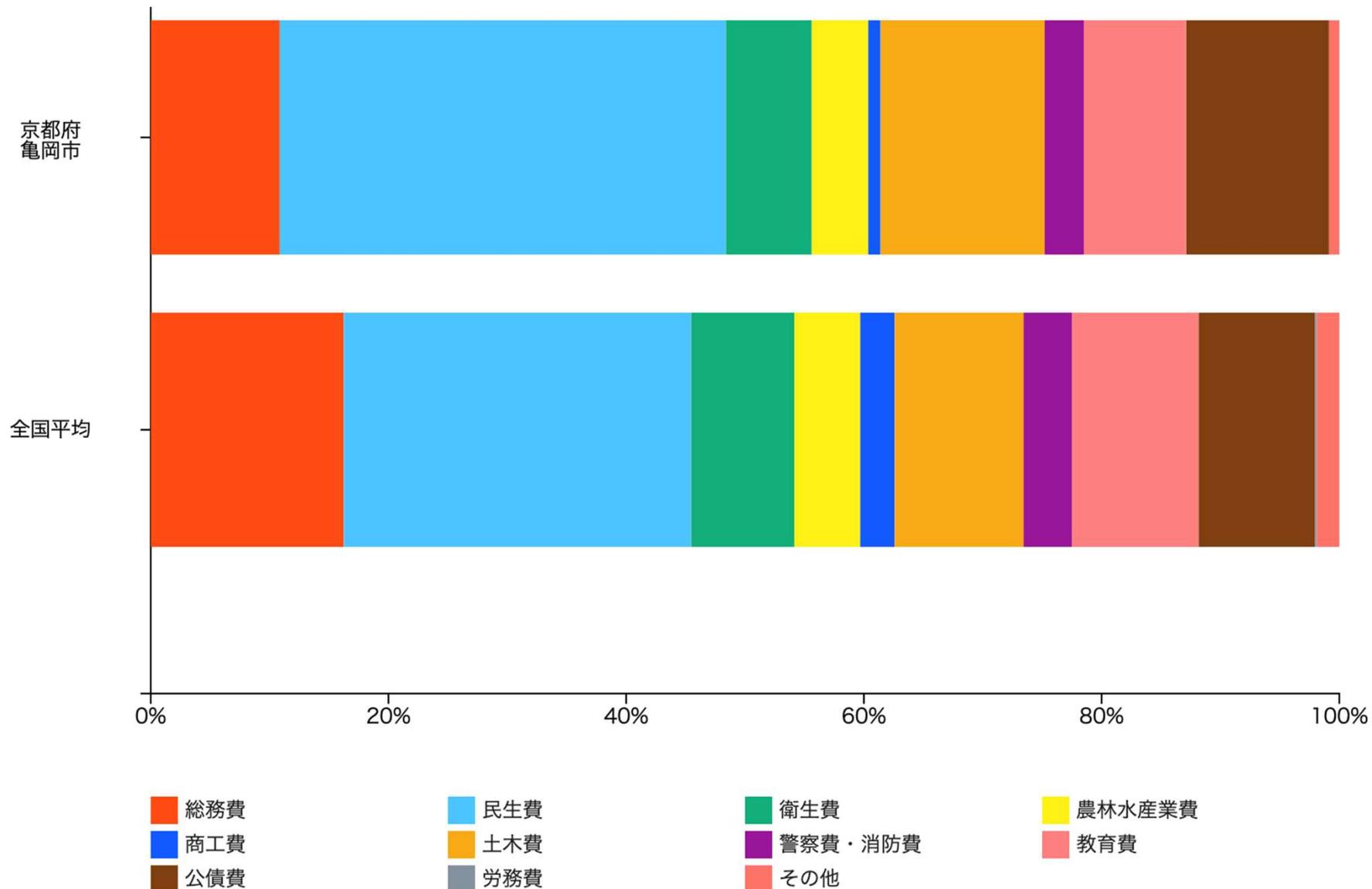
地方財政マップ> 自治体財政状況の比較> 目的別歳出を見る



例えば…このグラフを見て分かること

地方財政マップ> 自治体財政状況の比較> 目的別歳出を見る

目的別歳出決算額の比較（構成比、2017年度）



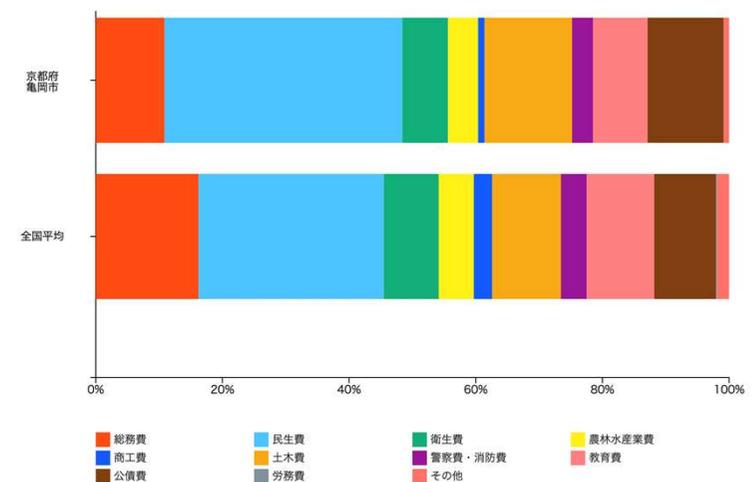
例えば…このグラフを見て分かること

- 例えば、2017年度の亀岡市を見ると、民生費や土木費、公債費の割合が大きく、総務費や商工費、**教育費**の割合が全国と比べ小さい（RESAS上で表示年度を遡ると、こうした傾向は2015年度から続いている）。
- 全国平均と近ければよいというものではなく、**どのようなメリハリ**をつけるかは各自治体の判断だが、**重視する政策分野にきちんと予算**がついてきたのか、**客観的に認識**することが重要。

2019年10月に再選を果たした桂川市長が一貫して掲げてきた市政運営の柱の1つが、「子育て・**教育で憧れのまち**」であり、**令和2年度当初予算の重点事項**にも位置づけられている。ICTの整備や支援員の配置など、義務教育学校における教育環境の充実が予算編成上の検討課題になった際に、その金額の大きさゆえ、実施の可否をめぐる判断は、最後の市長査定にまで持ち越された。

あなたがその場にいたらどのように判断するだろうか？

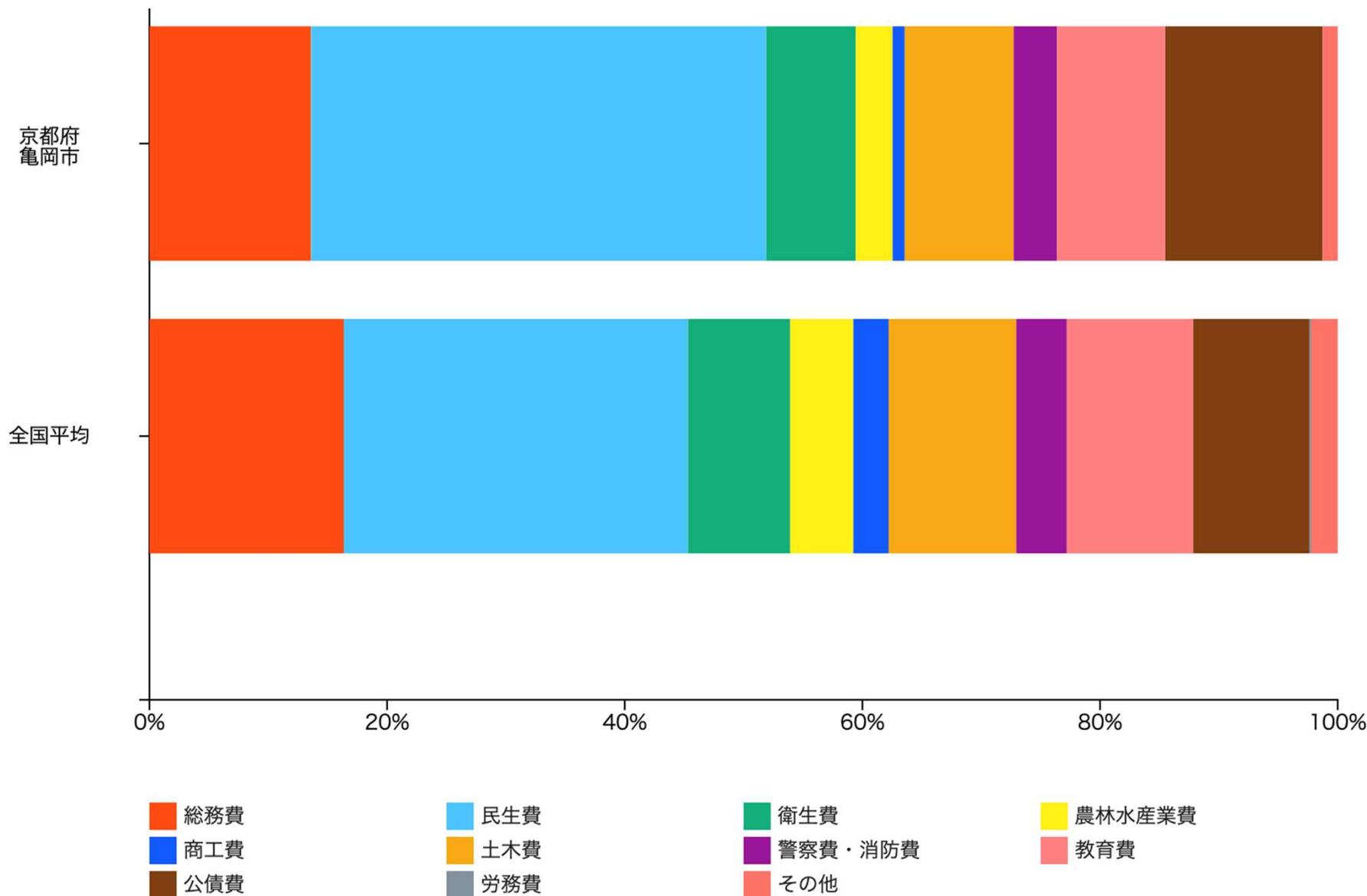
目的別歳出決算額の比較（構成比、2017年度）



一時点だけの議論は危険⇒傾向をつかむことが大事

地方財政マップ> 自治体財政状況の比較> 目的別歳出を見る

目的別歳出決算額の比較（構成比、2018年度）



市職員や市民と一緒に、2年間でできたこと

手がけた分野

①ふるさと納税

-寄付受入額：2017年度3.8億円→2019年度11.0億円

②駅前開発

-誘致企業による投資額：4社で計30億円超

③稼げる地域観光

-約40の地域事業者が参画するネットワーク創設

④プラごみゼロ

-全国初のレジ袋禁止条例の成立

⑤芸術祭

-「地方創生☆政策アイデアコンテスト2019」で優勝

組織改革

⑥働き方改革

-ペーパーレス、テレワーク、RPAやITツールの導入

⑦人材育成

-セミナー／講演会を40回超、延べ1600名超が参加

⑧デジタルガバナンス

-IT 4社との提携

仲山副市長が退職
亀岡でセレモニー

国の地方創生人材支援制度により財務省から派遣されていた亀岡市の仲山德音副市長(32)が、同制度の期間終了に伴い、17日退職した。写真。

仲山氏は2018年7月に地方創生担当部長に就任し、19年7月



から副市長を務めた。同日、安町の市役所

で開かれた退職セレモニーで、仲山氏は職員を前に「多くの人と一緒に汗をかいて一つ一つ積み上げていくのがまちづくりだと実感した2年間だった。国の施策形成にも反映したい」とあいさつした。後任はおらず、副市長は1人体制となる。(上田真里奈)

そもそも亀岡市に赴任した理由

“人口減少に立ち向かう方法を見つける”



照千一隅／一隅から千里を照らす

2018年～2020年

地方創生人材支援

制度の下、

京都府亀岡市へ



京都府亀岡市の概要

京都市のベッドタウン

- ・京都市のベッドタウンとして発達してきた「トカイナカ」
(2021年4月時点で人口87,741人、京都府内3位の人口規模)
- ・11月から3月の朝方に、盆地上の市域全体を包み込む濃霧が発生



風景を織りなす農業

〈市内農業の特徴〉

- ・古来より大嘗祭の奉祝田を務めてきた「京都府の穀倉地」
- ・農業生産は61億円（2015年）と府内4番目に大きい
- ・近年では圃場整備やスマート農業にも注力



京都観光＋亀岡観光

- ・京都市に隣接した立地を活かし、観光客数は年間300万人超（2019年度）
- ・トロッコ、保津川下り、湯の花温泉など自然景観や保養を楽しむ観光が中心
- ・新たな集客拠点として、京都スタジアムが2020年1月にJR亀岡駅前が開業



自然環境の豊かさ

- ・天然記念物アユモドキが「市の魚」
- ・棲息場所を保全するため、京都スタジアムの立地予定地を変更（2015年）

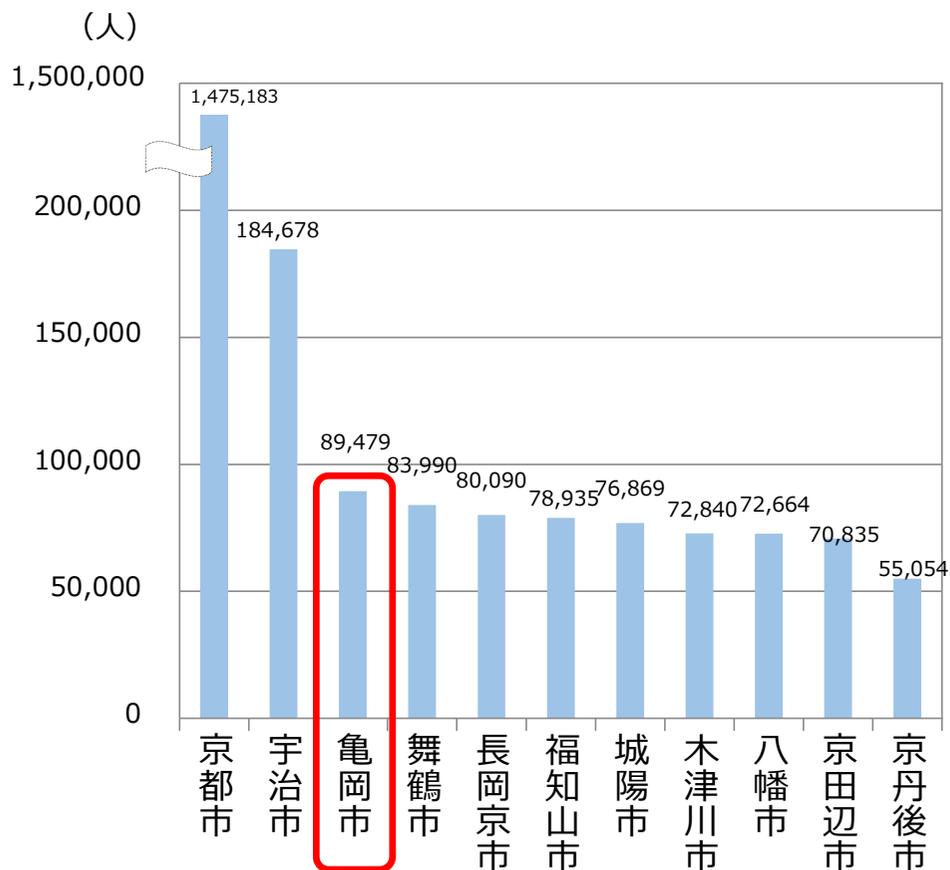


亀岡市の人口動態

- 府内3位の人口規模を有するも、社会減少により2000年より減少が続く。
- 将来は「高齢化ベッドタウン」に（2040年高齢化率35%超）。

① 京都府内市町村の人口（2015）

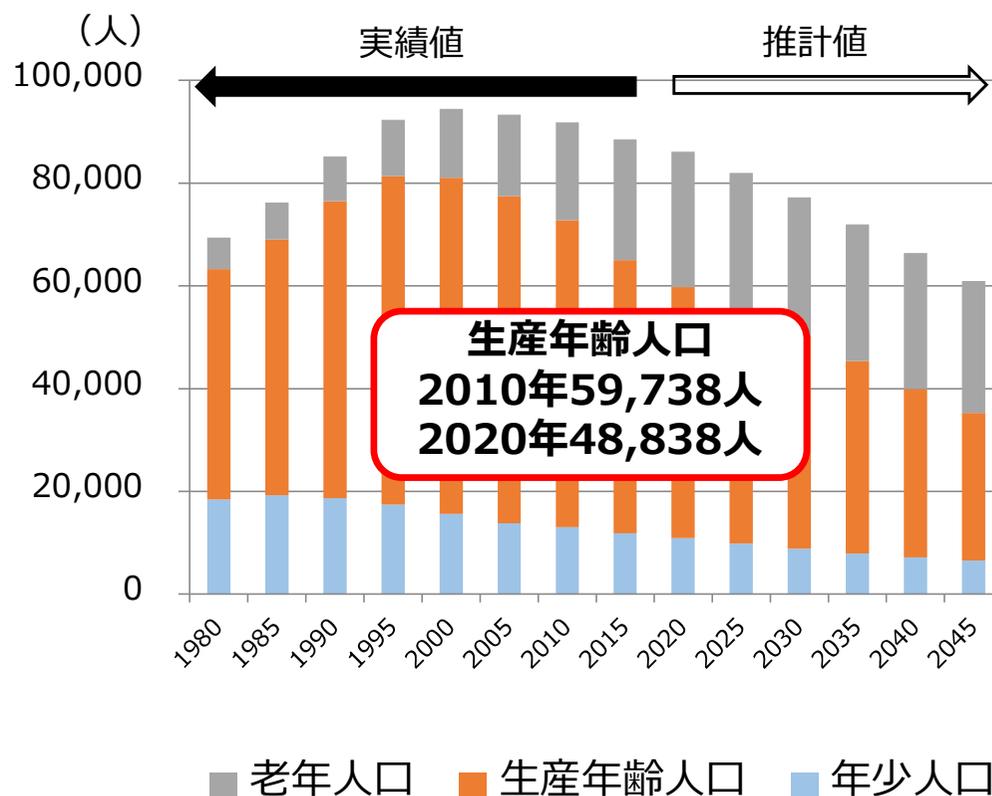
人口マップ> 人口構成：市区町村ごとにカーソル



② 亀岡市の人口と人口構成の推移

人口マップ> 人口構成> 人口推移

2000年94,555人をピークに総人口が減少

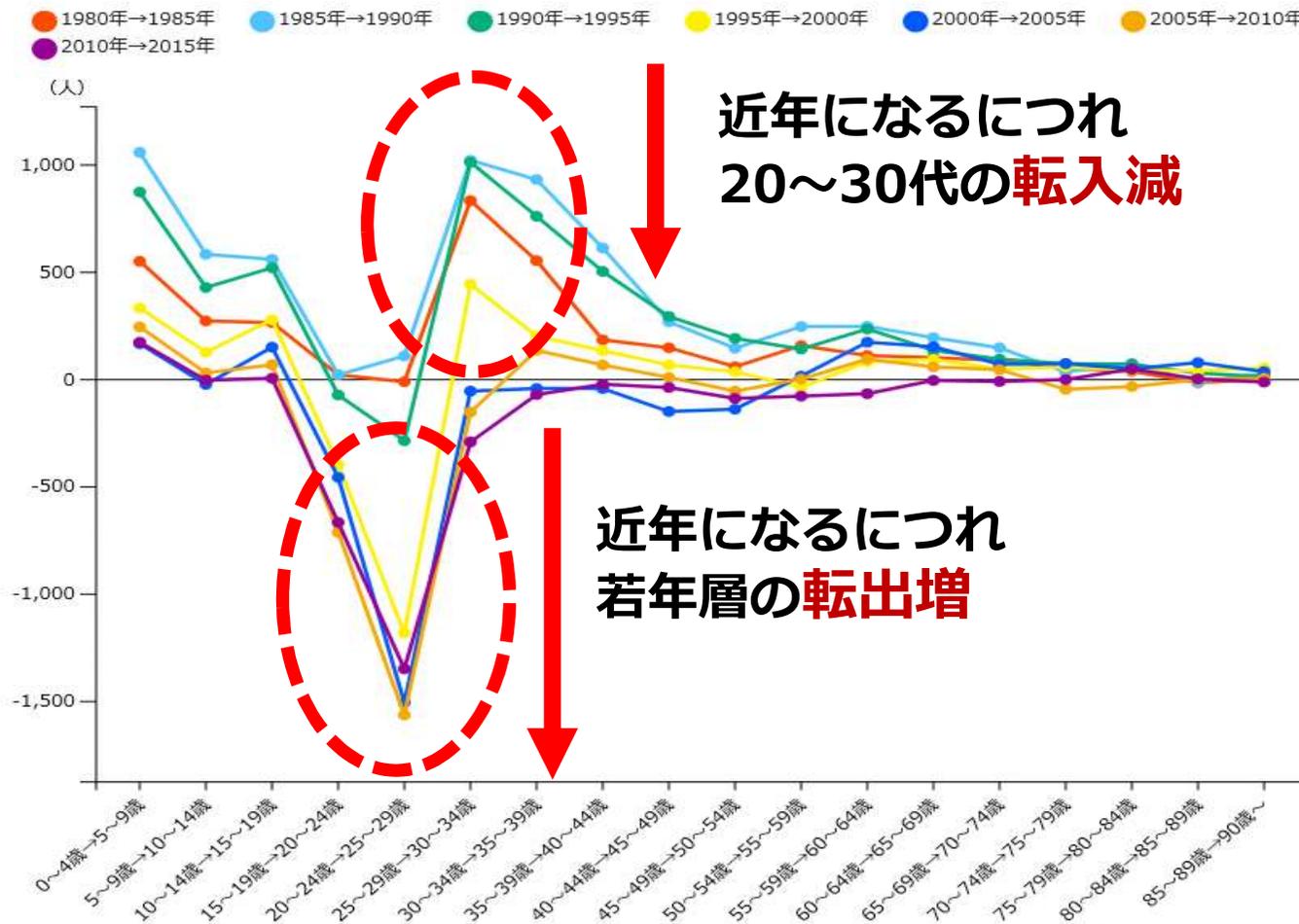


亀岡市の人口動態

- 府内3位の人口規模を有するも、社会減少により2000年より減少が続く。
- 将来は「高齢化ベッドタウン」に（2040年高齢化率35%超）。

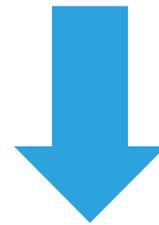
③ 亀岡市の年齢階級別純移動数（2015）

人口マップ> 人口の社会増減> 人口移動（グラフ分析） ※ 緑色の右欄の一番下ボタン



人口動態

（住民の増減、年齢構成の推移など）



財政構造

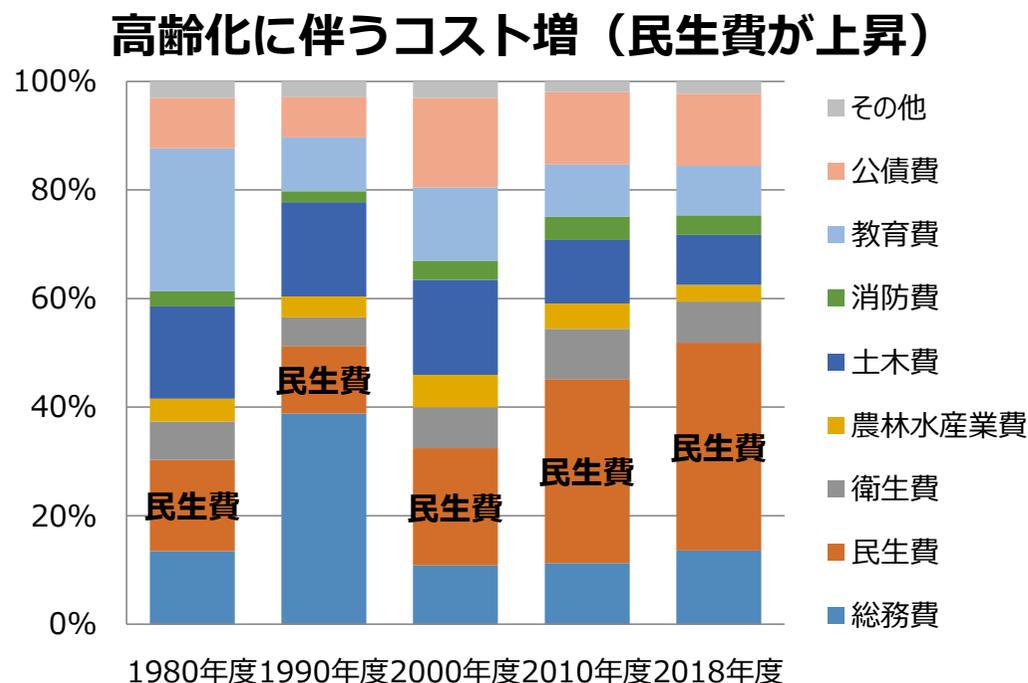
（歳入と歳出の中身、関係性など）

亀岡市を「稼げるまち」にする必要性

■市歳出に占める民生費が急増。経常収支比率も90%超で高コスト体質に。

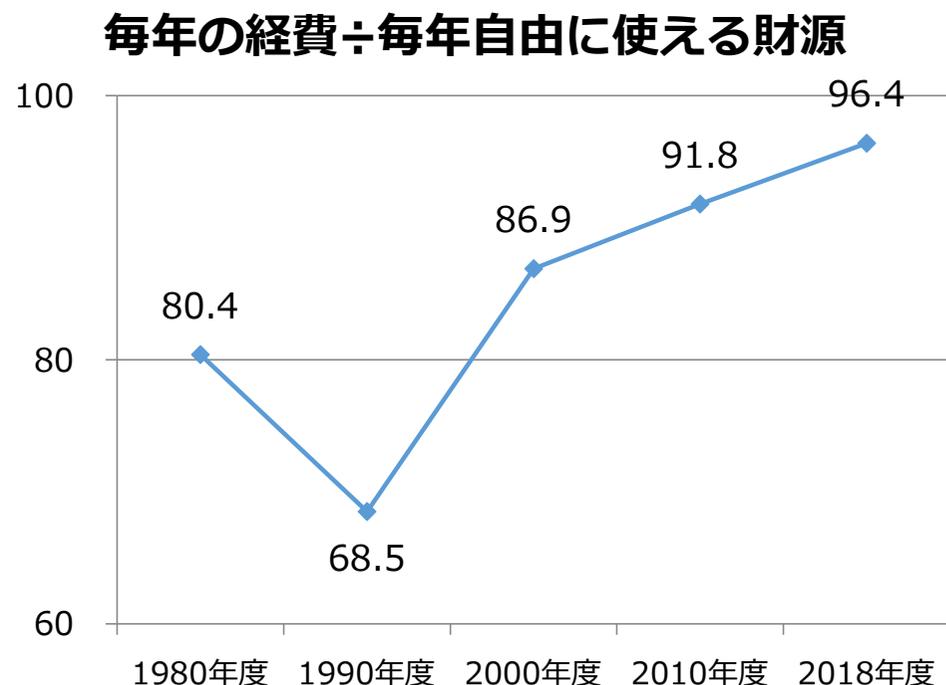
①目的別歳出内訳（決算ベース）の推移

地方財政マップ>自治体財政状況の比較
>「目的別歳出を見る」欄で各年の推移をとる



②経常収支比率（決算ベース）の推移

地方財政マップ>自治体財政状況の比較
>「経常収支比率を表示する」欄で各年の推移をとる



いわば**国の縮図**。人口減少・高齢化に伴う現象であり、**他地域でも同様**に見られる。

亀岡市を「稼げるまち」にする必要性

- 民生費が急増。経常収支比率も90%超で高コスト体質に（前頁）。
- 一人当たり税収が低い中、今後は人口減による**税収減**を危惧。

③ 住民一人当たり税収（2017年）

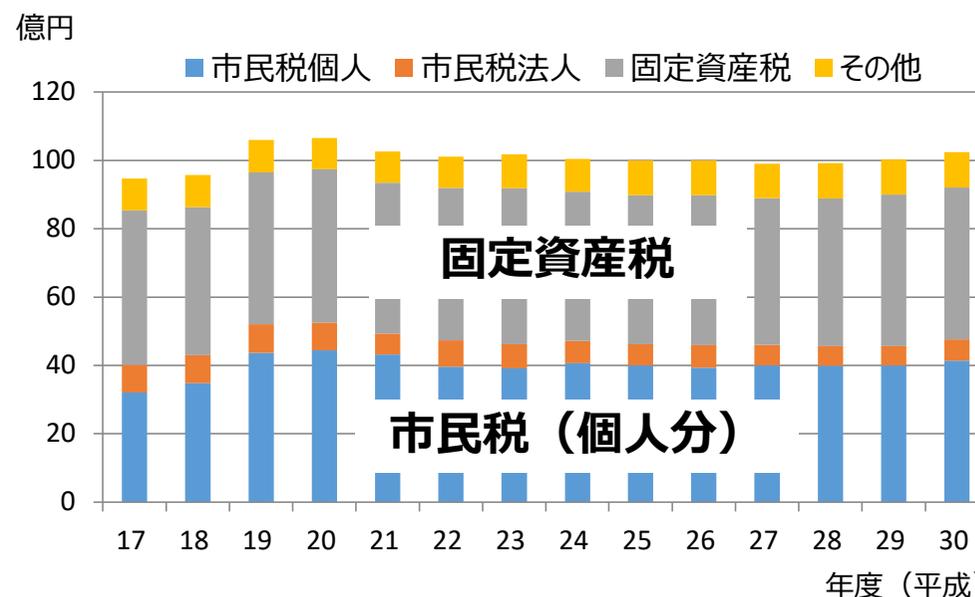
地方財政マップ> 一人あたり地方税、一人あたり市町村民税、一人あたり固定資産税で「グラフを表示」

税目	一人当たり税収	全国 1719市町村中
地方税	112千円	1,073位
固定資産税	49千円	1,138位
市民税 (法人分)	6千円	1,041位

④ 市税の推移

※ 亀岡市統計書より作成

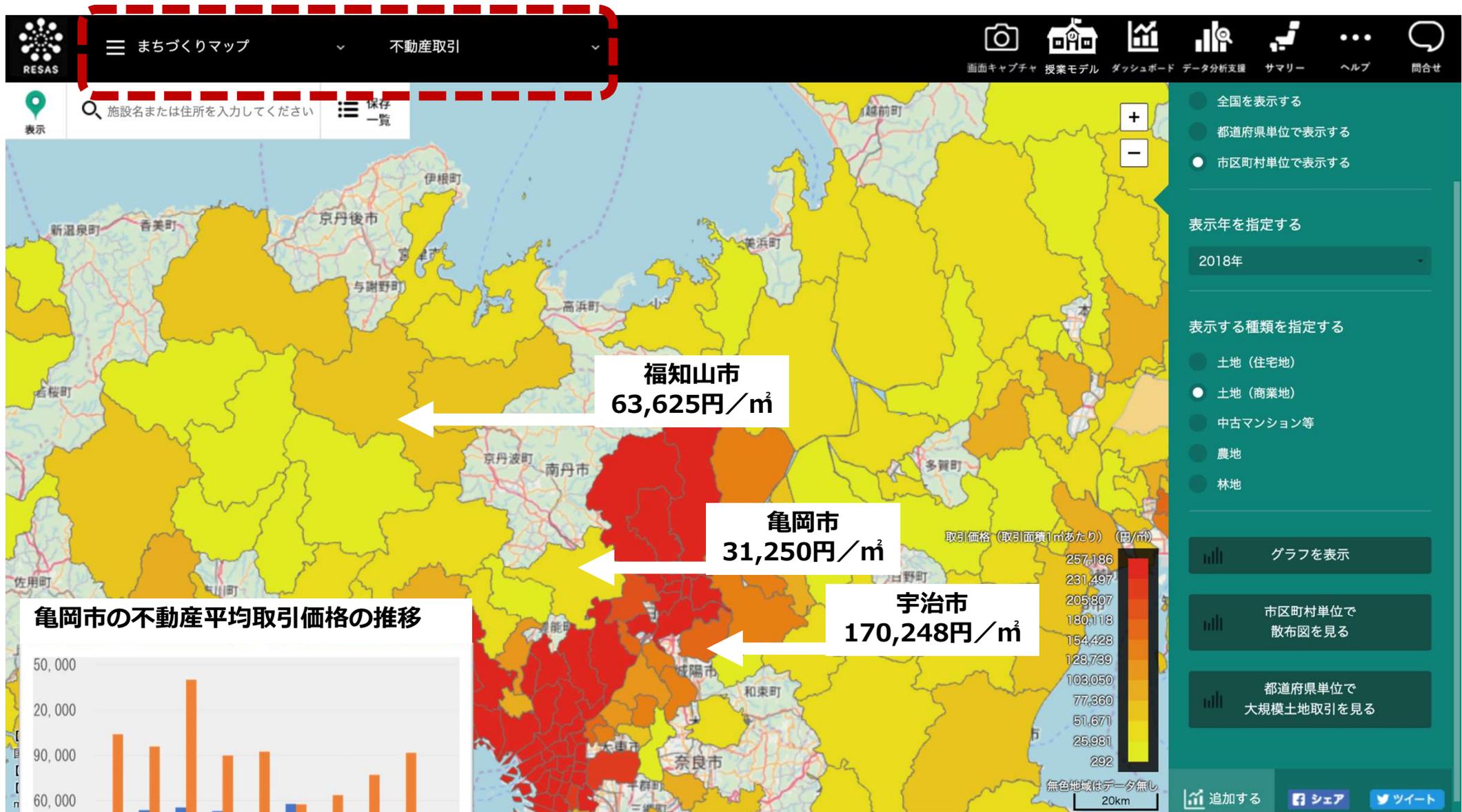
税収の4割を占める個人市民税は今後減少が予想



固定資産税 ⇒ 土地、建物、設備

市民税（個人分） ⇒ ヒト

土地の価格を比べてみると…



(出典) RESAS「まちづくりマップ」。土地の価格は、商業地の平均取引価格（2018年）

亀岡市の課題と戦略

■ これからの20年間の人口減少 = ①生産年齢人口の減少と②高齢化率の上昇

<データから見通せる課題>

財政	<ul style="list-style-type: none">・ 市税の4割を占める市民税が減少	<ul style="list-style-type: none">・ 民生費の割合は増加し、財政は硬直化(対策例) 健康寿命の延伸
経済	<ul style="list-style-type: none">・ 消費者が減り、第3次産業は撤退・ 第1次/第2次産業での担い手不足	<ul style="list-style-type: none">・ 地域や経済を変革するアイデアは通りにくくなる

戦略1

ヒトや企業の「集積地」を作る
(=住む/働く/楽しみにくる)

理由

人が集まらないところは経済活動が成り立たず、必衰する

取り組み例

??

ヒトや企業の「集積地」 を作る戦略 1

駅前開発 企業誘致

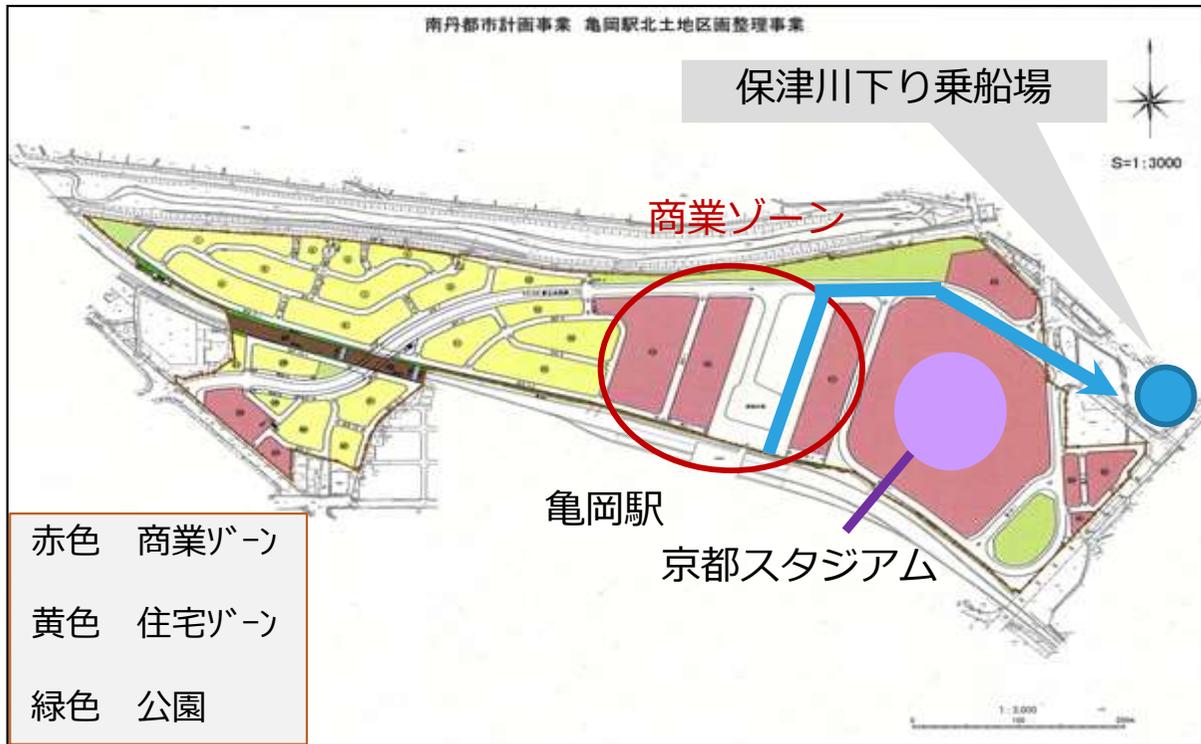
意図的に「人を集める」場所を作る

2020年1月にオープンした駅前の京都スタジアムと周辺エリア



(写真：京都新聞および亀岡市)

ヒトが集まる場所かどうか が商業繁栄の鍵



- ①人口を集める
→マンション誘致
※目的は人口増加でなく、局所的に集めること
- ②観光客を集める
→ホテル誘致
- ③賑わいを集める
→小売り／外食を誘致

実はRESASがここでも使えた（後述）

○亀岡駅前北口（駅北）での事業打診の結果

目的	業種	営業先数	立地決定
商業機能	宿泊施設（ホテル）	7	1 (+1)
	スポーツ、アウトドア&その他エンタメ	3	0
	飲食店	28	1
定住機能	デベロッパー、住宅会社	26	1
	スーパー、ドラッグストア	10	0

人が集まれば 「稼げるまち」になる？



宿泊、飲食、物販、交通費、体験 のいずれかを「地域」
で発生させる必要

大資本による集客・集住

地域資本への消費振り向け

戦略3へ

亀岡市の課題と戦略

■ これからの20年間の人口減少 = ①生産年齢人口の減少と②高齢化率の上昇

<データから見通せる課題>

財政	<ul style="list-style-type: none">・ 市税の4割を占める市民税が減少	<ul style="list-style-type: none">・ 民生費の割合は増加し、財政は硬直化(対策例) 健康寿命の延伸
経済	<ul style="list-style-type: none">・ 消費者が減り、第3次産業は撤退・ 第1次/第2次産業での担い手不足	<ul style="list-style-type: none">・ 地域や経済を変革するアイデアは通りにくくなる

戦略1

ヒトや企業の「集積地」を作る
(=住む/働く/楽しみにくる)

理由

人が集まらないところは経済活動が成り立たず、必衰する

取り組み例

駅前開発、企業誘致
(京都先端大との産学連携)

戦略2

外からの「資金流入」を促す
(=ヨソモノが買いたい/来たい)

理由

地域の人口が減少する以上、地域の外から資金を稼ぐ必要

取り組み例

??

亀岡市の地域経済の現状（資金の流れ）

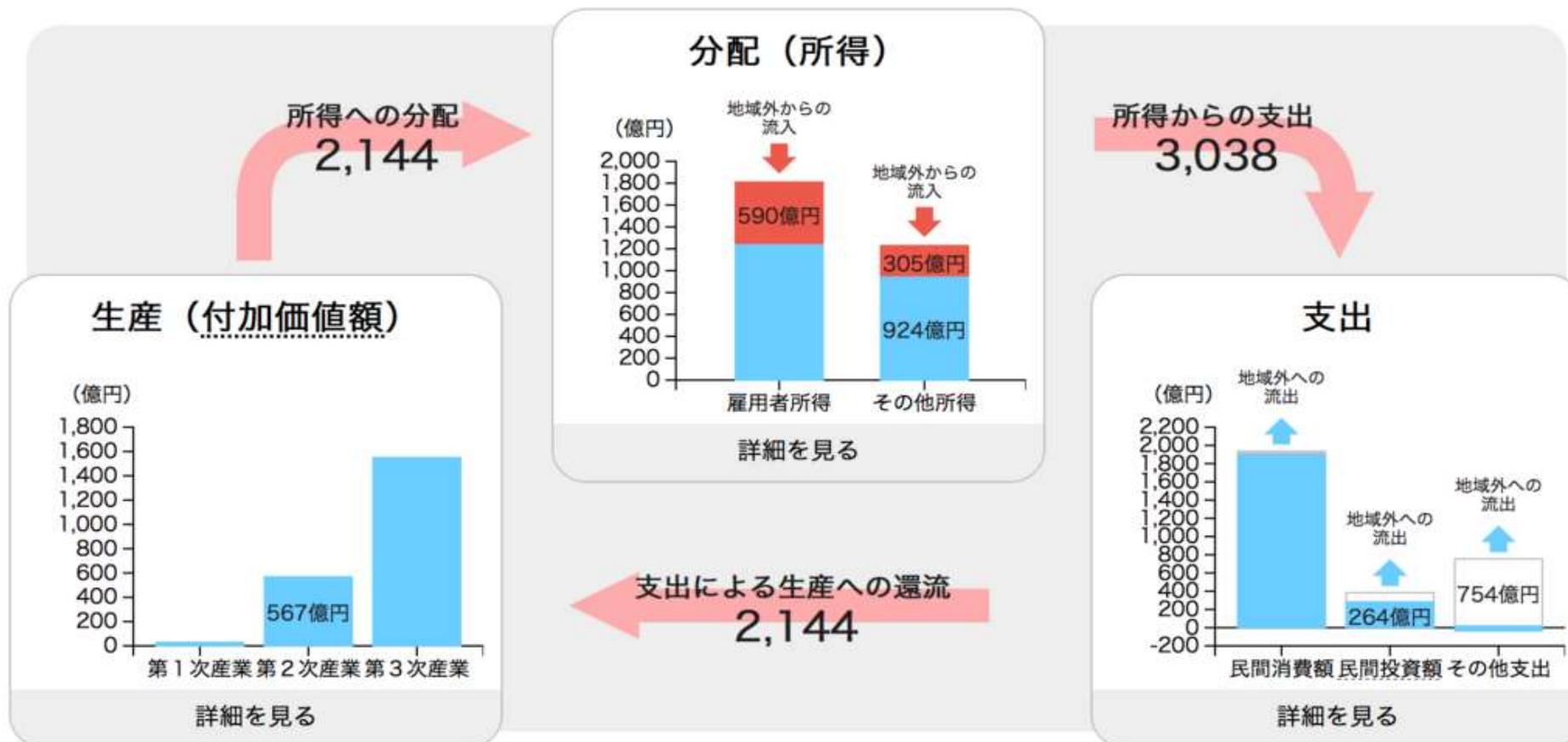
まち全体では、**資金は流入？流出？** どこを見れば判断できるか？

地域経済マップ> 地域経済循環図

地域経済循環率
70.5%

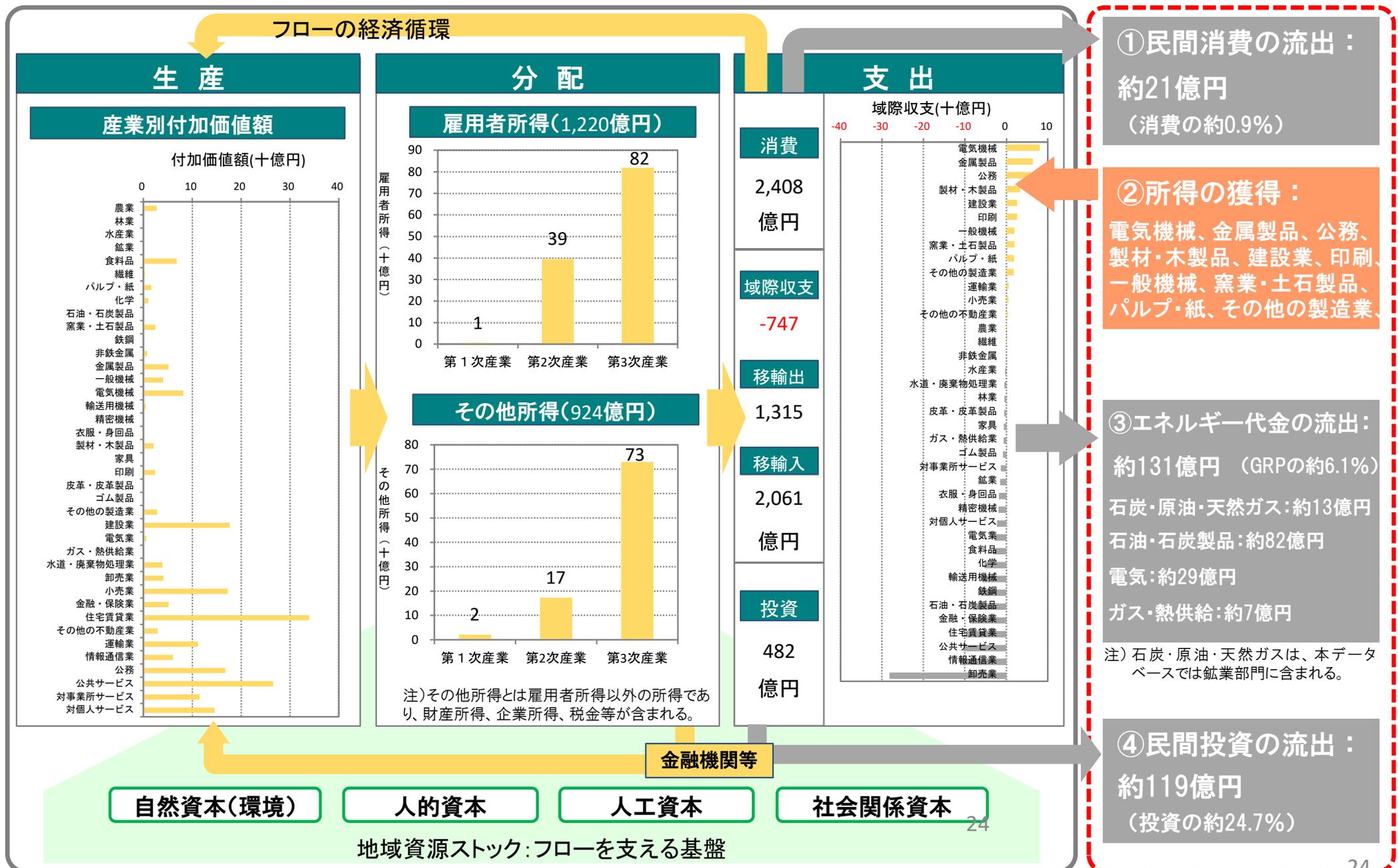
地域経済循環図
2013年

指定地域：京都府亀岡市



亀岡市の地域経済循環図（政府データより）

亀岡市総生産（/総所得/総支出）2,144億円【2013年】



(出典) 環境省「地域経済循環分析自動作成ツール」より作成（2019年1月31日）。

地域に資金が流入する主な経路

国	地域
①国内産品の「輸出」 (内→外)	④域内産品の「域外販売」 (内→外)
②「訪日旅行客」の購買消費 (外→内)	⑤「来街客」の購買消費 (外→内)
③外国企業の対日直接投資 (外→内)	⑥域外企業による域内投資 (外→内)

①～⑥を意識した仕事を市の職員はしているか？

- ・ 農業や商業関係者、役所内の企業誘致担当者 (例：①④⑥)
- ・ 役所内のふるさと納税担当者 (例：④)
- ・ 観光担当者、広報担当者 (例：①②⑤)

亀岡の何を、誰に、どうやって、売ればよいのか？

外からの「資金流入」を 促す戦略 1

ヨソモノノ視点 分析の徹底

亀岡の何を、誰に、どうやって、売るのが？

<ヨソモノの視点の重要性>

あなたにとっての「亀岡」のセールスポイントは？

亀岡と聞いて**思い浮かぶ**ものは？

市職員に聞いてみると、

亀岡の何を、誰に、どうやって、売るのが？

<ヨソモノの視点の重要性>

職員にとっての「亀岡」のセールスポイント \neq 市外から見た「亀岡」の〃
(市が気をつけるべきこと) 市民向けの周知広報 \neq 市外向けの情報発信

The screenshot shows a Google search for '亀岡' (Kameoka). The search bar is at the top, and the results are displayed in a grid format. The first row of results includes:

- Image of a mountain landscape with a city view. Caption: 京都府に住むなら亀岡市を選ぼう！おすすめの理... universalhome.co.jp
- Image of a train crossing a bridge over a river. Caption: 亀岡市 - Wikipedia ja.wikipedia.org
- Image of a green field with mountains in the background. Caption: 亀岡市 / 亀岡盆地 city.kameoka.kyoto.jp
- Image of a lake with mountains in the background. Caption: h2906_(一社)亀岡市観光協会会長賞_「錦秋の亀... yunohana-onsen.com
- Image of a stadium. Caption: 2020年オープン of 亀岡駅前「サンガスタジアム by... kyotoside.jp

The second row of results includes:

- Image of a city view from a hill. Caption: 西山緑花公園 | 観る | ぶらり亀岡 亀岡... kameoka.info
- Image of a dam. Caption: 京都府亀岡市の特徴 ニッポンの自治体 - 住みたい... sumai-surf.in.com
- Image of a road sign for Kameoka. Caption: 亀岡インターチェンジ - Wikipedia ja.wikipedia.org
- Image of cherry blossoms. Caption: 亀岡市 / 亀岡市職員をめざすあなたへ city.kameoka.kyoto.jp
- Image of a river with a train bridge. Caption: 京都府亀岡市の地域・お礼品情報 | ふるさと納税サイト... satofull.jp

The third row of results includes:

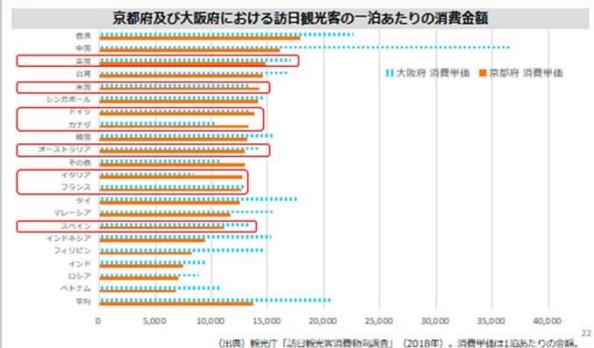
- Image of a bridge over a river.
- Image of a city view from a hill.
- Image of a green field with mountains in the background.
- Image of a river with mountains in the background.
- Image of a building.

京都府の欧米豪観光客に関する 基礎的マーケティング資料

RESASに限らず、色々なデータに
ついて、市職員が自ら分析
(=練習すれば誰もができる)

どれくらいお金を使うか④～国籍別の消費単価～

- 京都府の欧米豪訪日客 1泊あたりの消費単価は1.1～1.5万円。
- 0.8～1.7万円となる大阪府に比べ、欧米豪各国間でのバラつきが小さい。



22

どれくらいお金を使うか⑤～買物代～ ※アジアと米国の比較

- アジア客と比べ、米国客の食料品・土産物の購入率は高い。
- 例外として、民芸品・伝統工芸品の購入率が全国籍の3倍、単価が1.4倍。

買物代の費用別購入率および購入者単価

買物	全国		韓国		台湾		中国		米国			
	購入率 (%)	購入者単価 (円)										
食料品	71.2%	9,162	85.0%	5,847	75.3%	6,701	64.1%	9,076	71.0%	10,228	44.6%	6,561
土産物	48.2%	4,842	31.1%	4,307	17.0%	5,034	15.3%	7,144	12.6%	10,222	27.1%	8,288
生鮮食品	5.0%	4,209	2.4%	5,171	18.5%	3,390	21.2%	3,981	5.7%	5,842	5.1%	5,079
その他食品・飲料・たばこ	36.2%	6,291	38.7%	4,289	41.2%	7,242	38.4%	8,955	53.0%	11,190	33.2%	10,441
化粧品	49.3%	20,241	33.4%	7,807	42.2%	13,271	42.2%	20,277	62.3%	34,528	8.1%	12,122
医薬品	40.0%	13,005	45.5%	5,872	58.9%	14,201	43.9%	9,632	51.9%	24,000	3.3%	7,117
健康グッズ・サプリメント	18.3%	14,902	13.8%	5,994	21.6%	12,570	21.1%	9,805	24.2%	24,844	4.3%	5,548
衣類	38.1%	18,852	25.4%	12,212	42.5%	13,290	55.3%	21,342	27.7%	30,333	28.0%	13,311
靴・靴下・手袋	15.2%	21,148	10.2%	10,724	21.9%	14,591	53.5%	18,000	27.2%	48,729	12.1%	13,555
電気製品	19.4%	28,119	2.7%	30,451	19.3%	21,988	5.8%	20,044	19.3%	33,333	3.9%	21,425
時計・アクセサリー	3.7%	55,405	1.4%	21,199	2.0%	27,428	2.3%	29,117	6.9%	86,441	1.1%	53,310
旅行用品	1.4%	69,719	0.9%	34,555	0.4%	87,388	0.6%	40,304	2.0%	117,817	4.1%	16,824
楽器・楽器工芸品	8.9%	9,407	5.4%	4,340	9.9%	6,729	6.8%	9,956	6.9%	11,881	25.9%	13,100
その他・ギフト・アクセサリー	4.2%	13,648	2.9%	4,453	3.2%	6,111	1.9%	4,488	3.7%	8,521	9.5%	7,902
書籍・雑誌・ゲーム・DVD/Blu-ray	3.2%	13,821	2.8%	10,133	3.0%	12,812	3.7%	13,800	3.9%	17,390	4.0%	12,164
その他買物代	7.2%	13,700	9.8%	8,855	4.3%	12,293	4.9%	24,202	3.4%	17,189	14.3%	14,417

(出典) 観光庁「訪日観光客消費動向調査」(2018年)

23

どれくらいの頻度で来日しているか①

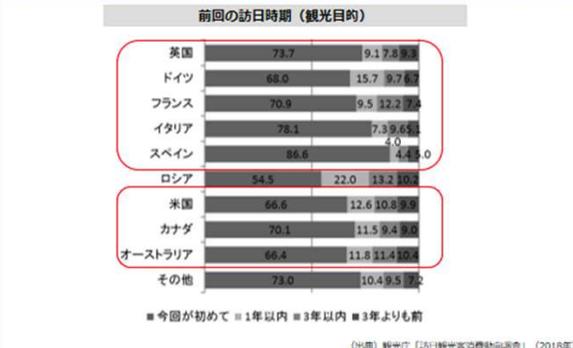
- 14日間以上の滞在者は、米国・カナダでは2～3割、欧州・豪では4～5割。
- 初訪日者がいずれも7～8割を占める。リピーターは2～3割。



26

どれくらいの頻度で来日しているか②

- 欧米豪観光客のうち、再訪日は10%、3回目は5%、4回目以上は10%。
- 再訪する場合、1年以内の再訪が3割を占め、3年以内では6割を超える。



27

地方において何に期待しているか ※すべての訪日観光客

- 地方型コト消費への期待が増し、四季や自然の体験客の7割が地方を訪問。
- 他方、歴史文化や日本食を主目的とする訪日客の地方訪問率は5～6割。



28

目次

- 1 欧米豪客の構成、年齢及び単価
- 2 訪問、滞在及び宿泊
- 3 消費
- 4 来日頻度及び主な関心
- 5 移動及び情報経路など
- 6 季節性

29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40

ターゲット年齢層と滞在日数、価格設定について

【1 欧米豪客の構成、年齢及び単価】

(p6) 近畿における欧米豪観光客は、50歳以下が7～8割。欧州客は、30～40代が5割弱と多い一方、米豪は20代以下が4割。

→20～40代の目線で楽しいと思えるコンテンツ形成と情報発信、交通アクセスの設定。

【2 訪問、滞在及び宿泊】

(p8～11) 長期滞在の傾向（米国客9.9泊～仏国客15.3泊）があり、近畿と他地域とを組み合わせた訪問が9割を超える中、京都府では、米仏の訪日客が平均4泊超、他の欧米豪客が平均3泊。

【3 消費】

(p18～22) 欧米豪客の旅行中支出は16.2～19.8万円（全地域平均は13.2万円）。内訳として、宿泊費が45%、飲食費が25%、交通費が15%強、買物代が15%弱。なお、欧米豪の個別手配者の1日あたり支出は1.1～1.6万円。

(p23) コト消費を体験する場合、旅行支出が1.2～1.4倍に増え、自然体験では+5.3万円増加。

→旅行者目線で「京都市と競合」するコンテンツであれば、1.1～1.6万円/日を上限とした価格となるが、差別化されたコト消費であれば、2～3万円/日の価格プランも可能。

ターゲット客層とコト消費の内容、情報発信について

【4 来日頻度及び主な関心】

(p25~29) リピーター客は全体の2~3割。初訪日の場合、日本食への関心が70%超と圧倒的に高い一方、歴史文化・日常生活体験は20%前後、自然体験は6.4%と関心層は少数派。ただし、訪日後には、自然体験への関心が15%に倍増。→訪日リピーター客向けに「食」「歴史文化」「自然体験」を丁寧に組み込み、発信する。ただし、日本食や歴史文化を前面にしても大都市の陰に埋没するため、「生活や自然の体験」を差別化ポイントにし、ニッチトップを獲る。

【5 移動及び情報経路など】

(p33) 出発前は、ブログ、SNS、口コミサイトまたは親族・知人の口コミを通じた情報収集が主流。交通手段や飲食店情報に比べて低いが、文化体験プログラム等の情報ニーズも数%ある。→英語でのブログ掲載、SNS投稿、サイトレビューを重点的に行う。これにより、数%というニッチマーケットである「文化体験プログラム等の情報ニーズ」を取りに行く。

【6 季節性】

(p36-45) 豪を除き1-3月はオフ。4-6月がピークで10-12月が多い英・米・カナダ・ドイツ型と7-9月も多いフランス型、7-9月がピークとなるスペイン・イタリア型がある。

ふるさと納税（外貨獲得の手段）

ふるさと納税10億円に向けて

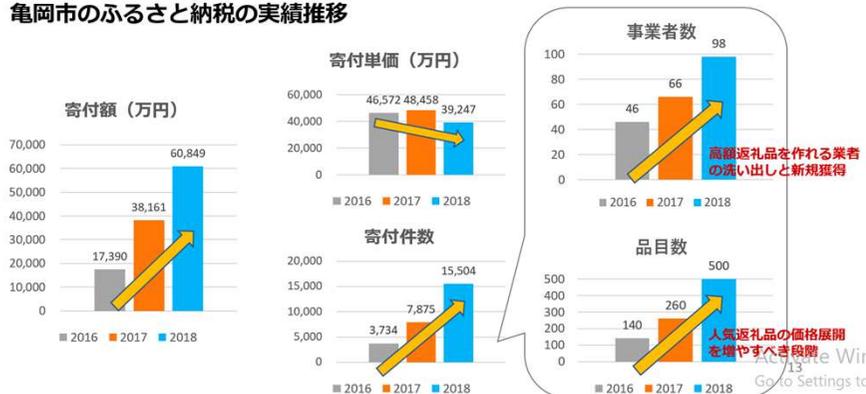
2019年4月 京都府亀岡市役所

亀岡市 Win
Go to Settings to

亀岡市ふるさと納税の今後の戦略

- 亀岡市のふるさと納税は、返礼品目数の増加に伴い、寄付単価の減少（-）及び寄付件数の増加（+）が見られてきたところ。
- 地場産規制は品目の増加を難しくするため、「返礼品の構成」に注力すべき。
 - ① 高額返礼品を作り、単価増（例：温泉宿泊券、農産物の定期便、京おせち）
 - ② 価格をワイド化し、件数増（例：10万円商品のみ→1万～15万円で複数展開）

亀岡市のふるさと納税の実績推移



京野菜や亀岡牛が高評価 京都・亀岡市、ふるさと納税10億円突破

2020/1/21 12:08 (JST) | 1/21 14:20 (JST) updated

©株式会社京都新聞社



情報発信 → 認知度向上 → 波及効果

2019年2月11日 関西テレビ「報道ランナー」



2019年5月21日 朝日放送テレビ「キャスト」



2019年2月17日 街づくりの企画発表会



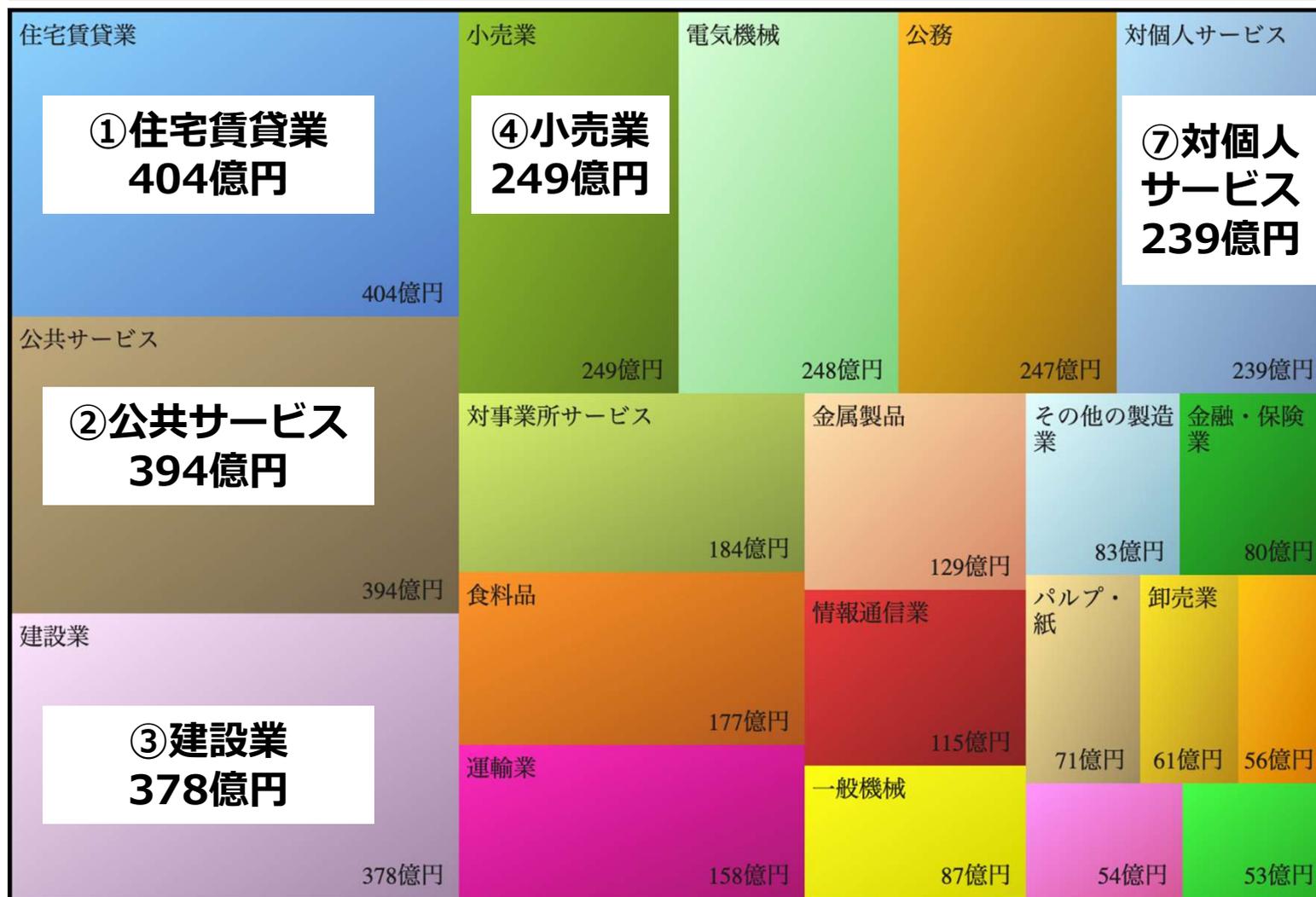
外からの「資金流入」を 促す戦略 2

産学連携

亀岡市の産業構造

- ベッドタウン化を背景に、「人口」をあてにした経済が中心。
- 人口減少の局面では、経済の縮小が予想される。

亀岡市の各産業（中分類）の生産額（2013年）



京都府における亀岡市の製造業の「実力」

■京都市のベッドタウンとして発展してきた歴史ゆえ、産業構造が人口規模に依存。府内他市と比べて製造業が弱い（工業製品出荷額が小さい）。

① 関西二府二県の昼夜間人口比率

1位	京都府久御山町	177.7%
2位	滋賀県竜王町	138.8%

9位	京都府京都市	109.0%
10位	滋賀県草津市	107.1%

105位	京都府亀岡市	85.5%

128位	大阪府島本町	76.0%
129位	大阪府豊能町	69.8%

(さらに調べると)
 亀岡市人口の13.6%
 (12,141人)が
 京都市に日中滞在

※数値は2015年

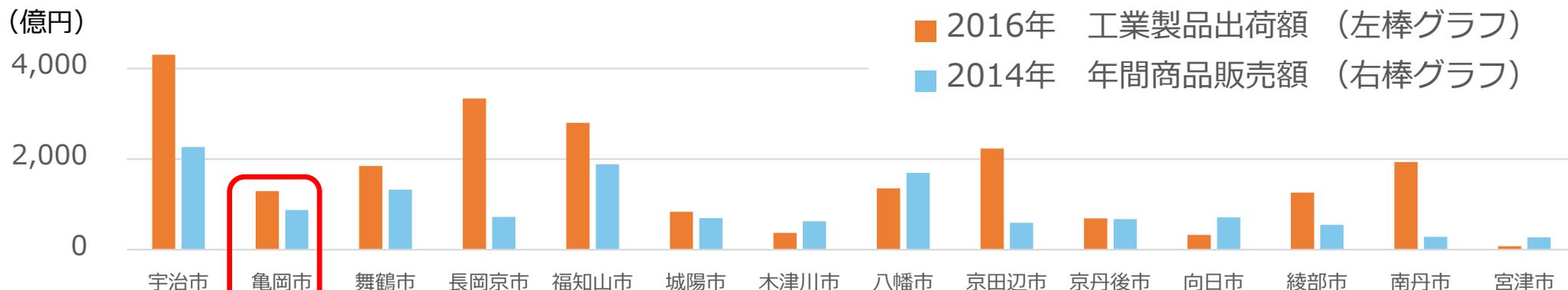
② 亀岡市内生産額における上位産業

青色網掛けで、市内生産額3,723億円の46%

地域内順位	産業中分類	生産額 (総額ベース)
1位	住宅賃貸業	404億円
2位	公共サービス業	394億円
3位	建設業	378億円
4位	小売業	249億円
5位	電気機械業	248億円
6位	公務	247億円
7位	対個人サービス業	239億円

※数値は2013年

③ 京都市を除く府内14市の工業製品出荷額・年間商品販売額



(出典) RESAS「まちづくりマップ」「産業構造マップ」(2020年3月時点) など

これまでの産学連携や企業誘致

■府内有数の農業生産を誇る「京都府内の穀倉地」としての特性を活かし、農業・食料品製造業分野で産官共同研究を推進したほか、企業を誘致。

①近年における亀岡市内への企業誘致実績

No	企業人	業種	売上 (億円)
1	日清医療食品(株) ヘル ケアフードファクトリー亀岡	食料品製造業	2,374
2	NISSHA(株) ナイテック工業 株式会社亀岡工場	電子部品製造業	1,731
3	ガンゼ(株)亀岡工場	電子部品製造業	1,407
4	ニチコン亀岡(株)	電気機械製造業	1,098
5	大光印刷(株)亀岡工場	印刷・同関連業	72
6	(株)鶴屋吉信	食料品製造業	49
7	小城製薬(株)	医療品製造業	35
8	宇治電器工業(株)	電気機械器具製造業	13
9	こと京野菜(株)	食料品製造業	10
10	大京化学(株)	化学薬剤製造業	9

※No1～6の売上額は企業全体にかかるもの。

②京都学園大との共同研究

事業年度	概要
2017	ソーラーパルが野菜の育成に与える影響
2016	市内で生産される茶の多用途利用
2015	地域肥料資源と観光型農業生産地域
2015	アラータイモの普及に必要な技術開発②
2014	里山地域の農林的資源の商品化
2014	アラータイモの普及に必要な技術開発①

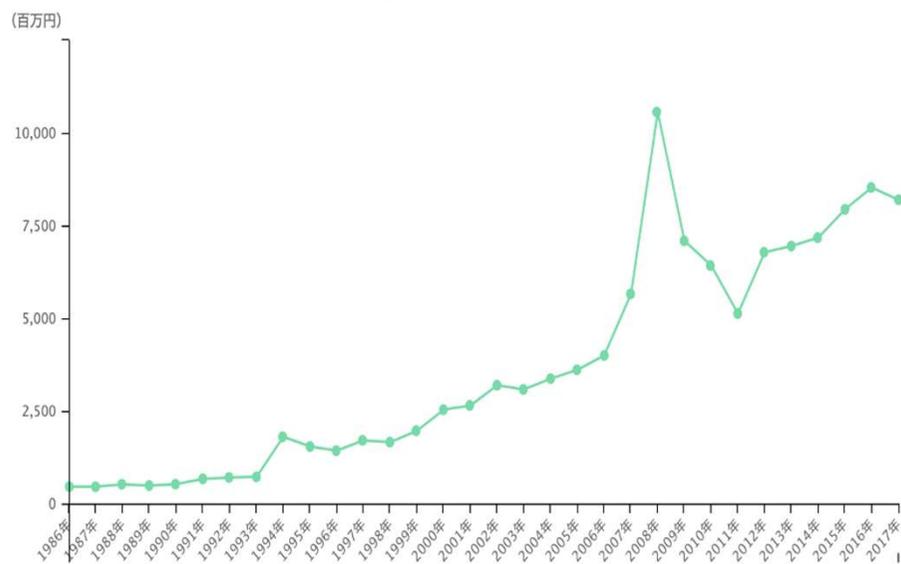
③その他分野における同大との連携

- ・市と大学間における包括連携協定の締結（2015年）
- ・同大学長が亀岡市総合計画審議会の会長を歴任（2010年～）

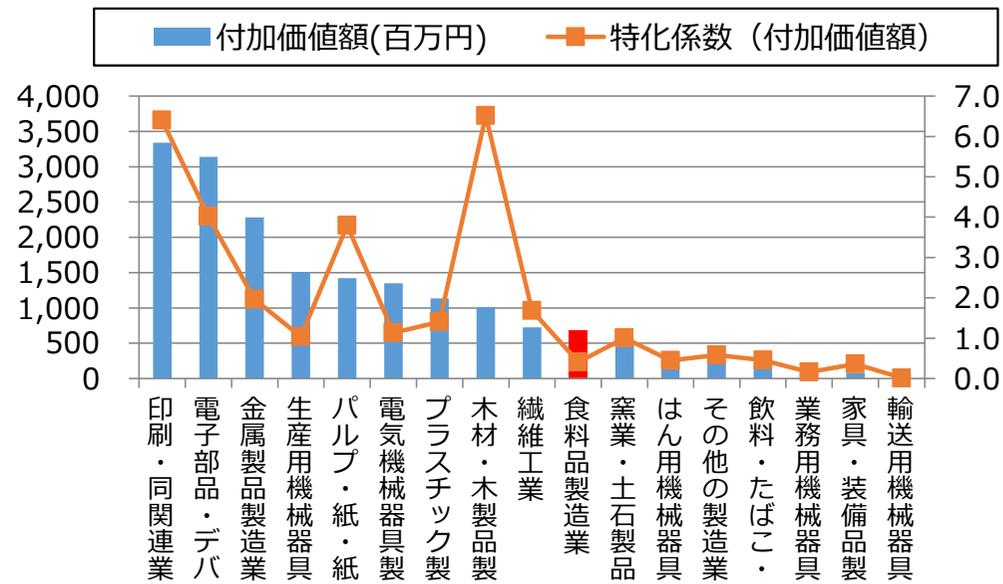
これまでの産学連携や企業誘致

■ 食料品製造業の付加価値額は、長期的には上がっているものの、**地域に所得をもたらす基盤産業とはなっていない**。また、**外貨獲得ができていない**。

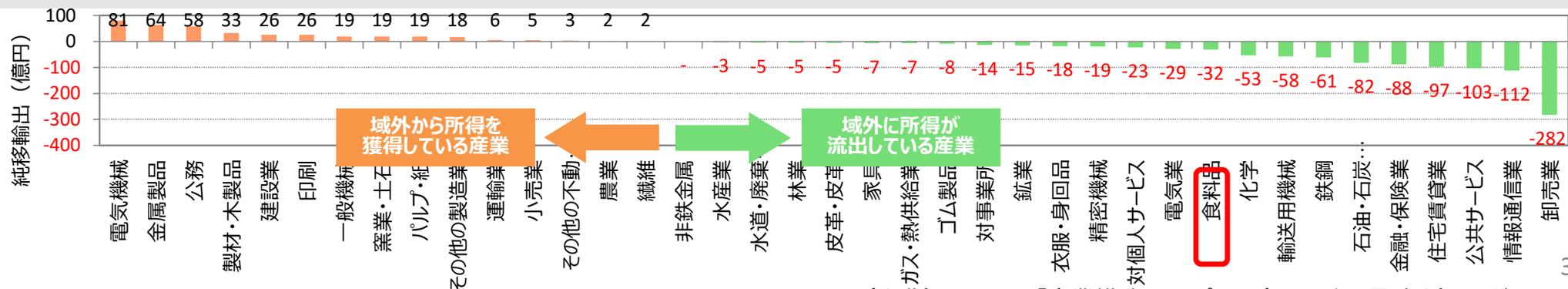
① 食料品製造業の付加価値額の推移



② 付加価値額が上位の産業と特化係数 (2016年)



③ 産業別純移輸出額 (2013年)

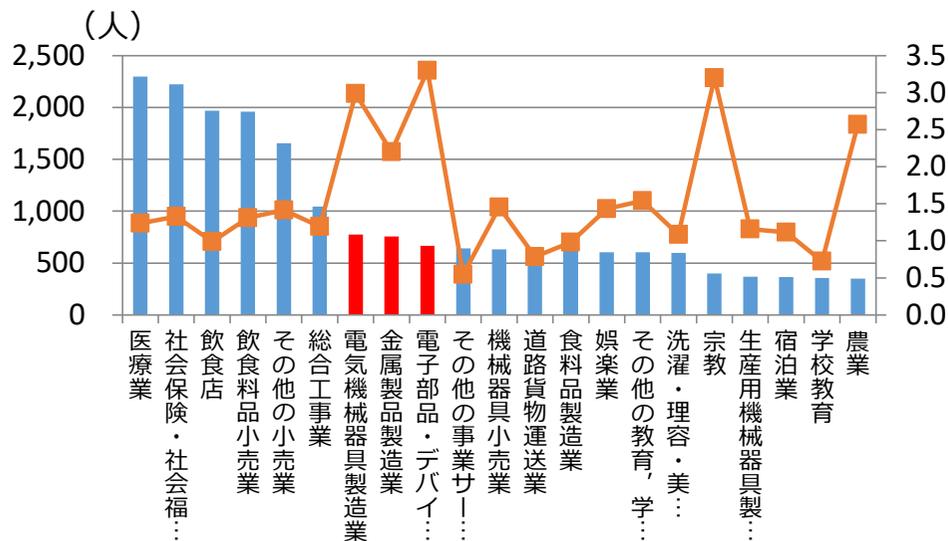


(出典) RESAS「産業構造マップ」(2020年3月時点) など

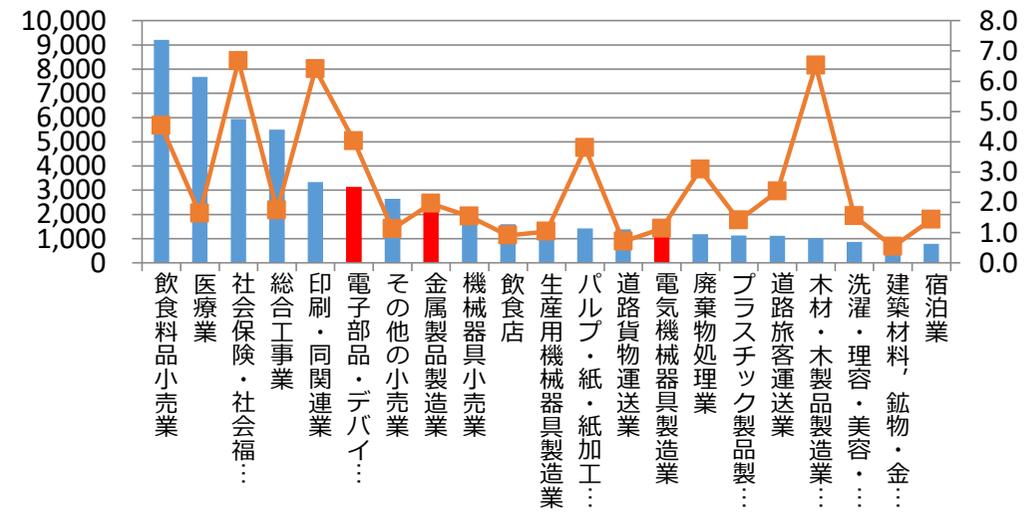
「亀岡の比較優位」となる製造業種

■電気機械、金属、電子部品製造業は、**従業者数や付加価値額の規模も大きい**地域の基盤産業。**特化係数も1を超え、外貨獲得も**できている。

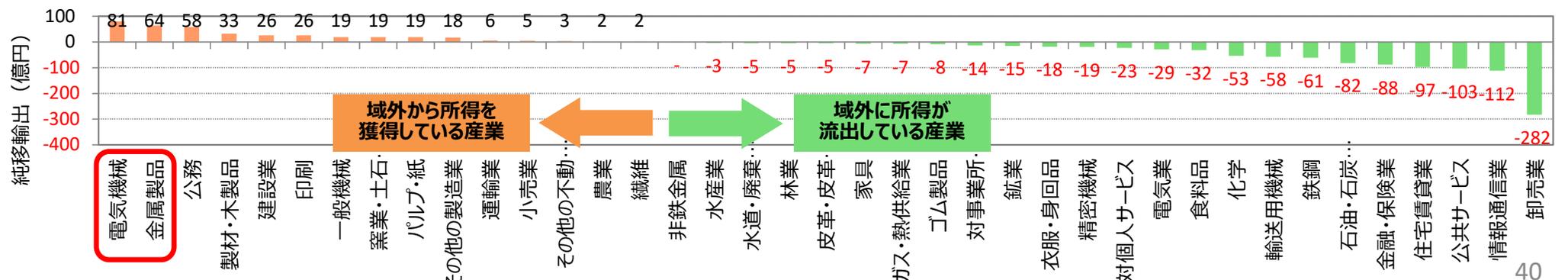
①従業者数が上位の産業（2016年）



②付加価値額が //（2016年）



③産業別純移輸出額（2013年）



(出典) RESAS「まちづくりマップ」「産業構造マップ」(2020年3月時点) など

産学連携を起爆剤に

京都新聞

ホーム

京都

滋賀

観光

スポーツ

社会

文化・ライフ

政治



永守重信・日本電産会長



工場や研究所の集積を計画する京都亀岡キャンパス

モーター大手、日本電産（京都市南区）の永守重信会長は14日、自身が経営に関わる京都先端科学大の亀岡市内のキャンパスや周辺地域に、グループ企業の研究所や工場を集積させる構想を明らかにした。企業と大学の両方を運営する立場を生かし、「産学共同」の新たな形態を目指す。

永守氏が京都新聞社の単独インタビューに答えた。永守氏は京都先端科学大を運営する学校法人の理事長を務める。

構想では、電気自動車（EV）向けの駆動用モーターの性能を調べる試走コースのほか、検査機器を手掛ける子会社の日本電産リード（京都市右京区）の工場も新設。投資額は100億円程度を見込み、大学キャンパスの再開発を含めて2030年度の完成を目指す。

永守氏は「大学内に企業の拠点があるドイツをモデルに、高度なものづくりができ

る拠点を作りたい」とし、教育と地域経済への貢献に意欲を示す。今後、国や亀岡市と協議を進める。

亀岡市は「地元雇用に加え、人材育成や販路開拓などで大学側と連携を深め、産業活性化につなげたい」（石野茂副市長）と期待。国の交付金などを得て後押しする考えだ。

（出典）京都新聞2020年5月15日付記事

亀岡市の課題と戦略

■ これからの20年間の人口減少 = ①生産年齢人口の減少と②高齢化率の上昇

〈データから見通せる課題〉

財政	<ul style="list-style-type: none">・ 市税の4割を占める市民税が減少	<ul style="list-style-type: none">・ 民生費の割合は増加し、財政は硬直化(対策例) 健康寿命の延伸
経済	<ul style="list-style-type: none">・ 消費者が減り、第3次産業は撤退・ 第1次/第2次産業での担い手不足	<ul style="list-style-type: none">・ 地域や経済を変革するアイデアは通りにくくなる

戦略1

ヒトや企業の「集積地」を作る
(=住む/働く/楽しみにくる)

理由

人が集まらないところは経済活動が成り立たず、必衰する

取り組み例

駅前開発、企業誘致
(京都先端大との産学連携)

戦略2

外からの「資金流入」を促す
(=ヨソモノが買いたい/来たい)

理由

地域の人口が減少する以上、地域の外から資金を稼ぐ必要

取り組み例

文化芸術、農業、観光、環境
京都先端大との産学連携
ふるさと納税

戦略3

まち全体での「地産地消」を促す
(=呼びかけよりも仕組みづくり)

理由

どれだけ稼いでも、地域の外に資金流出してては豊かになれない

取り組み例

??

人口以外の要因と地域経済

- 普段、京都市で買い物する
- 食事や飲み会は、京都市の店を選ぶ
- コンビニをよく使う
- ネット通販を重用している
- チェーン店の方が入りやすい

これらの**行動**が、なぜ亀岡市の**地域経済**に大きな影響を与えるのでしょうか？

漏れバケツ理論—地域内乗数効果

Aさん

- 1万円のうち8千円を地域外のスーパーなどで使う
 - 2千円を地域のクリーニング店や八百屋で使う
- ⇒ **地域に残るお金は20%** (2千円)

Bさん

- 1万円のうち8千円を地域のパン屋や八百屋で使う
 - 2千円を公共料金に使う (地域外に出るお金)
- ⇒ **地域に残るお金は80%** (8千円)

⇒ もし、**パン屋の店員が地域の人だったら**、Bさん使ったお金は、パン屋の従業員の**給与としてさらに地域内に留まる。**

このパターンが繰り返された場合、

Aさんのお金は、 10,000円 + 2,000円 + 400円 + 80円 → **12,500円**

Bさんのお金は、 10,000円 + 8,000円 + 6,400円 + ... → **50,000円**

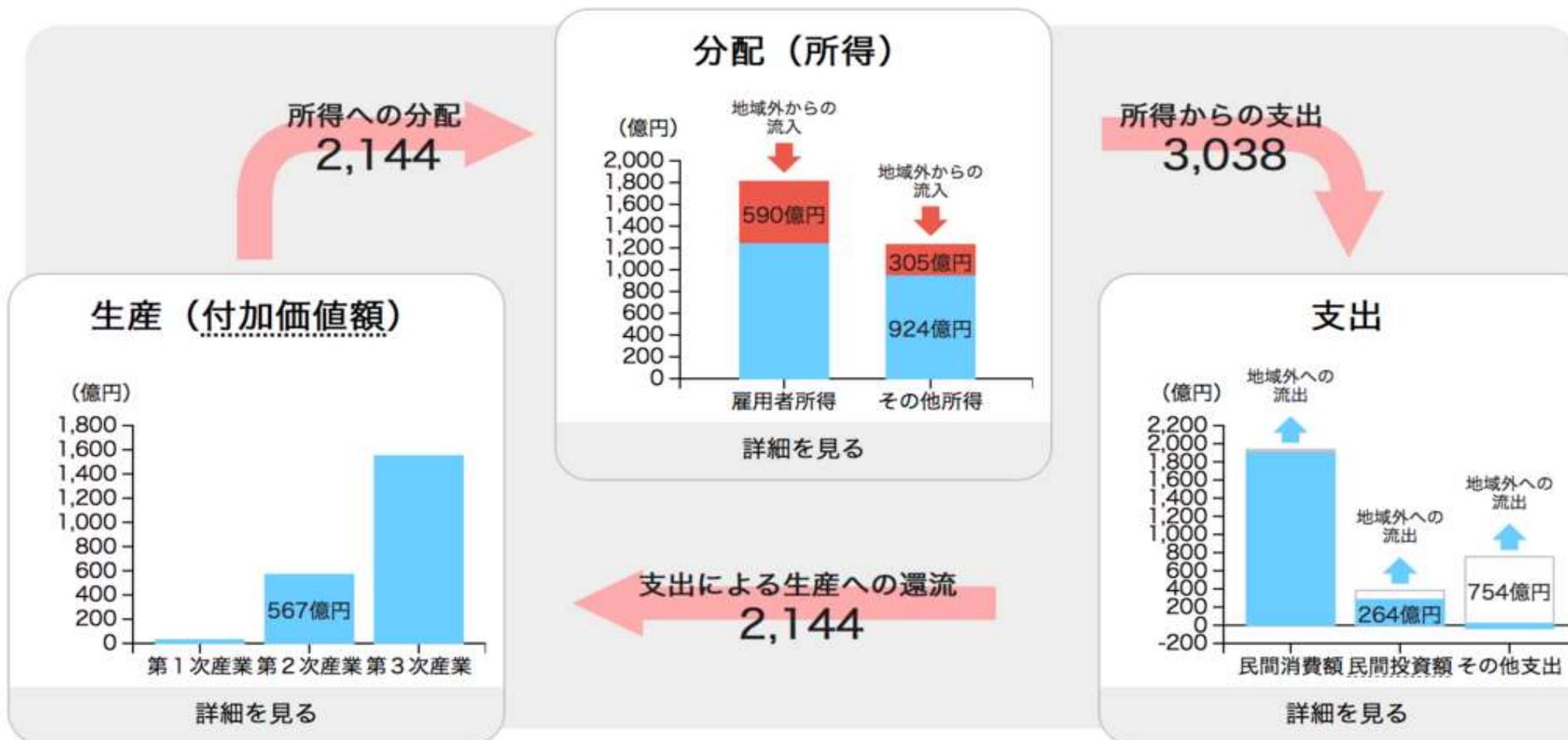
漏れバケツ理論—地域経済循環率

- 亀岡市の地域経済循環率（=生産／分配）は、70.5%。
- ざっくり言えば、所得の7割しか地域に落ちてない（3割は外に）。

地域経済循環率
70.5%

地域経済循環図 2013年

指定地域：京都府亀岡市



皆さんが副市長なら、どうしますか？

- 普段、京都市で買い物する
- 食事や飲み会は、京都市の店を選ぶ
- コンビニをよく使う
- AMAZONや楽天市場をよく使う
- チェーン店の方が入りやすい

漏れバケツ理論—地域内乗数効果

Aさん

- 1万円のうち8千円を地域外のスーパーなどで使う
- 2千円を地域のクリーニング店や八百屋で使う
- ⇒ **地域に残るお金は20%** (2千円)

Bさん

- 1万円のうち8千円を地域のパン屋や八百屋で使う
- 2千円を公共料金に使う (地域外に出るお金)
- ⇒ **地域に残るお金は80%** (8千円)
- ⇒ もし、**パン屋の店員が地域の人だったら**、Bさん使ったお金は、パン屋の従業員の給与としてさらに地域内に留まる。

このパターンが繰り返された場合、

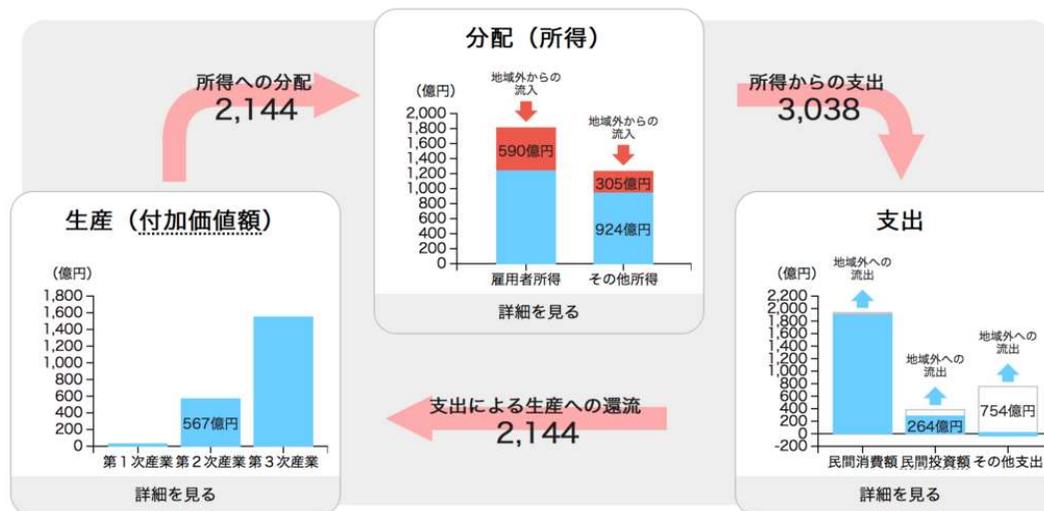
Aさんのお金は、10,000円 + 2,000円 + 400円 + 80円 → **12,500円**

Bさんのお金は、10,000円 + 8,000円 + 6,400円 + ... → **50,000円**

地域経済循環率
70.5%

地域経済循環図 2013年

指定地域：京都府亀岡市

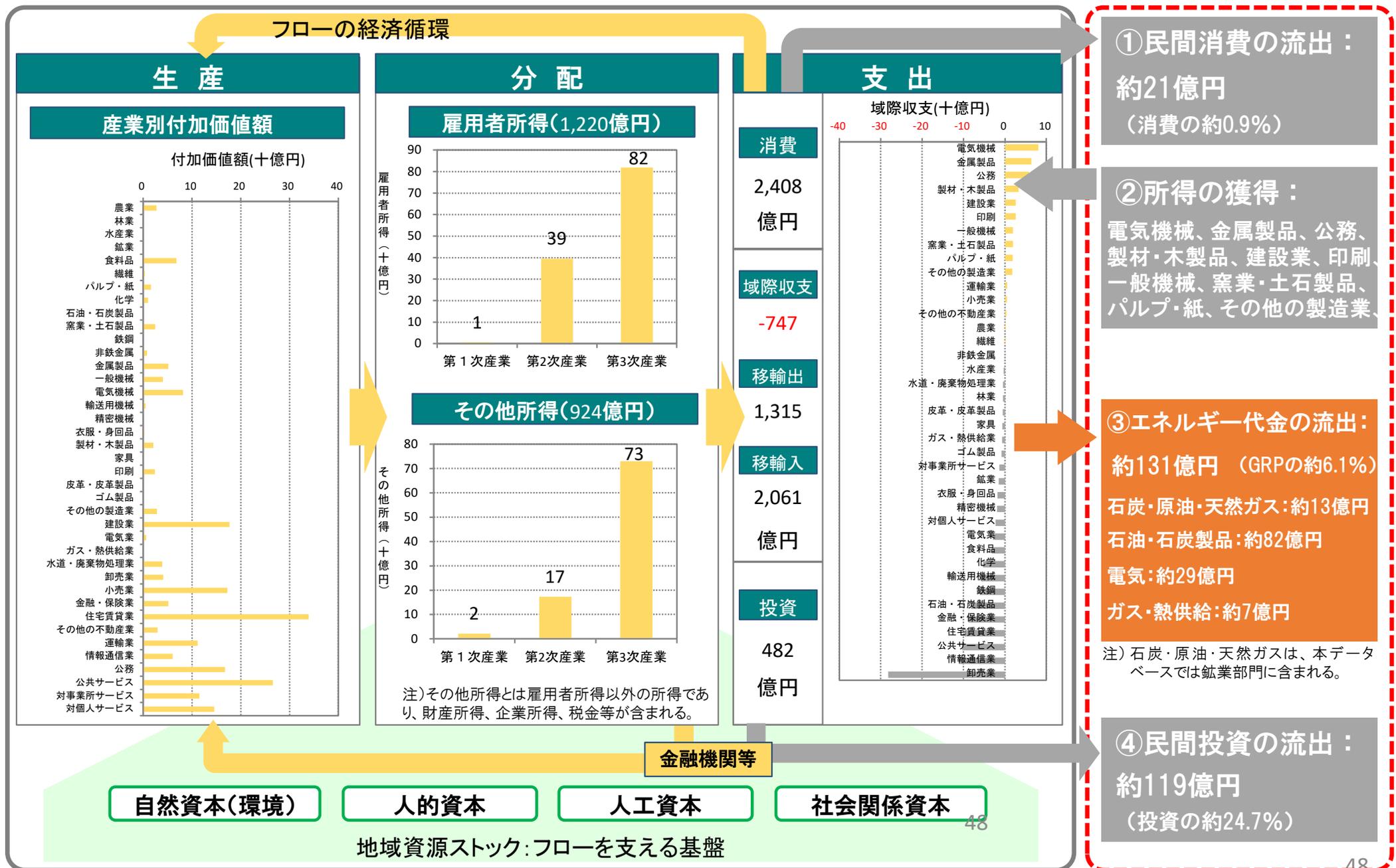


地域に資金／資源が循環 する戦略 1

地域循環共生圏

亀岡市の地域経済循環図（再掲）

亀岡市総生産(／総所得／総支出)2,144億円【2013年】



(出典) 環境省「地域経済循環分析自動作成ツール」より作成（2019年1月31日）。

例えば再生エネルギー

京都府亀岡市の新電力、地元メガソーラーから電力買取 地産地消を本格化

2019年01月23日掲載

印刷 記事を保存 いいね! 16 ツイート



いいね! 0 ツイート LINEで送る 更新日: 2019年2月7日

亀岡市年谷浄化センター消化ガス発電事業に係る基本協定の締結について

平成30年9月20日付けで公募を行いました亀岡市年谷浄化センター消化ガス発電事業について、審査の結果、次のとおり月島機械株式会社大阪支社を優先交渉権者として選定し、平成31年1月30日に基本協定の締結と本事業に関わる調印式を執り行いました。今後、亀岡市と月島機械株式会社は、再生可能エネルギーの有効活用促進と地産地消のエネルギー循環を目的に官民連携して本事業を推進してまいります。



「環境先進都市」に向けた複数の取組み

市職員作成



(参考) 亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例

亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例

プラスチックは、その優れた汎用性、実用性から私たちの生活に密着し、私たちもまた、プラスチックの利便性に依存してきた。その結果として、多くの使い捨てプラスチックが私たちの暮らす環境を汚染する一因となり、海洋プラスチック汚染という地球規模の環境汚染へとつながっている。

そこで、亀岡市長は、亀岡市議会とともに「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を行い、2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロを実現するために、まずは、私たちの日常生活に最も密着したプラスチック製レジ袋の提供を禁止することで、プラスチックの利便性に依存してきた生活を見直すとともに、川、海へとプラスチックごみを流さない意識のつながりの構築、さらにはごみの減量に取り組んでいく方向性を示したところである。

そして、こうした取組が、環境、経済及び社会の統合的な成長を目指す「地域循環共生圏」の創造へと展開していくとともに、市民一人一人の郷土愛を育み、豊かな自然環境を活かした地域ブランドの確立につながっていくことを願っている。さらに、市民が良好な環境を次代に引き継ぎ、将来にわたって安心して暮らせる持続可能なまちづくりの実現を目指して、この条例を制定する。

地域に資金／資源が循環 する戦略 2

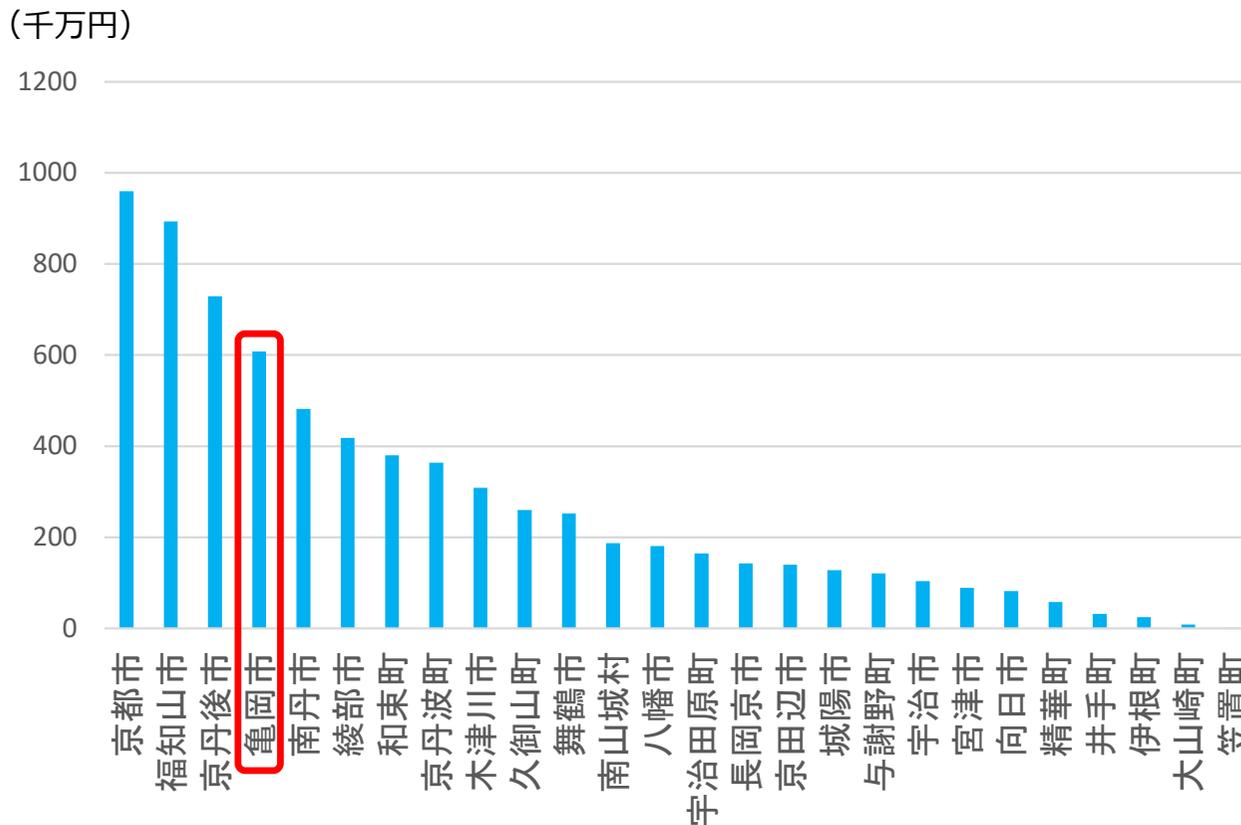
農業



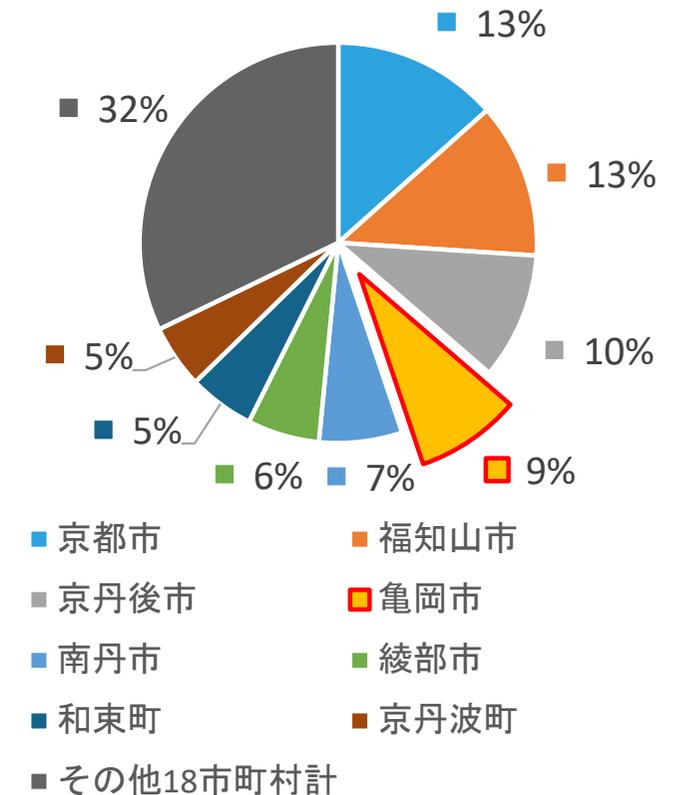
京都府における亀岡市の農業の「実力」

- 亀岡市の農業産出額は61億円（2015年）。京都府内市町村のうち4番目。
- 京都府全体の農業産出額712億円のうち、亀岡市は1割を占める。

① 京都府内の各市町村の農業産出額（2015年）



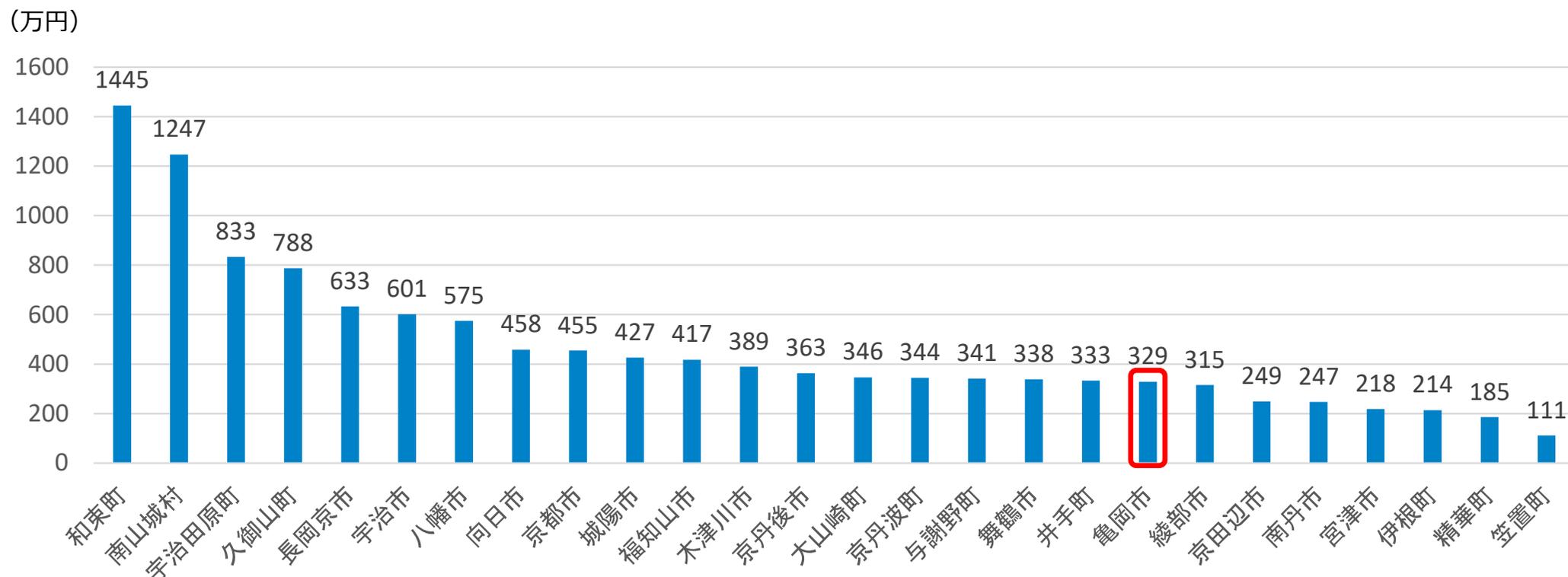
② 全体に占める割合（〃年）



経営体の平均的な産出額（生産性）

- 2015年における亀岡市の「農業経営体あたりの農業産出額」は329万円。
- 京都府内市町村のうち、**8番目に小さい**。

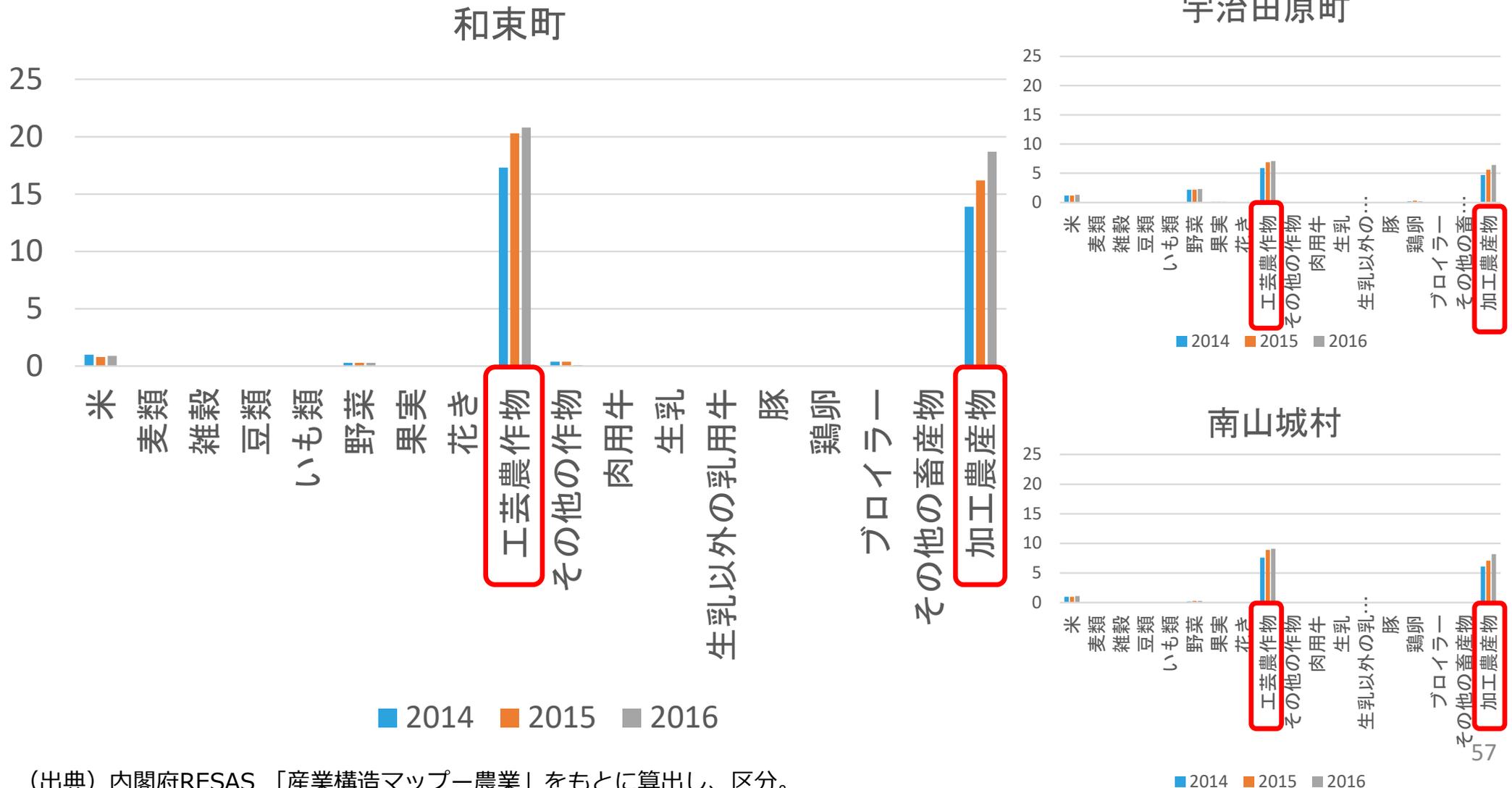
農業経営体あたりの農業産出額（2015年）



豆知識：何を作っているかは、実は4パターンある

- ① **工芸農作物・加工農産物**が突出しているパターン。
- 和束町、南山城村、宇治田原町

各地域の部門別農業産出額（億円）



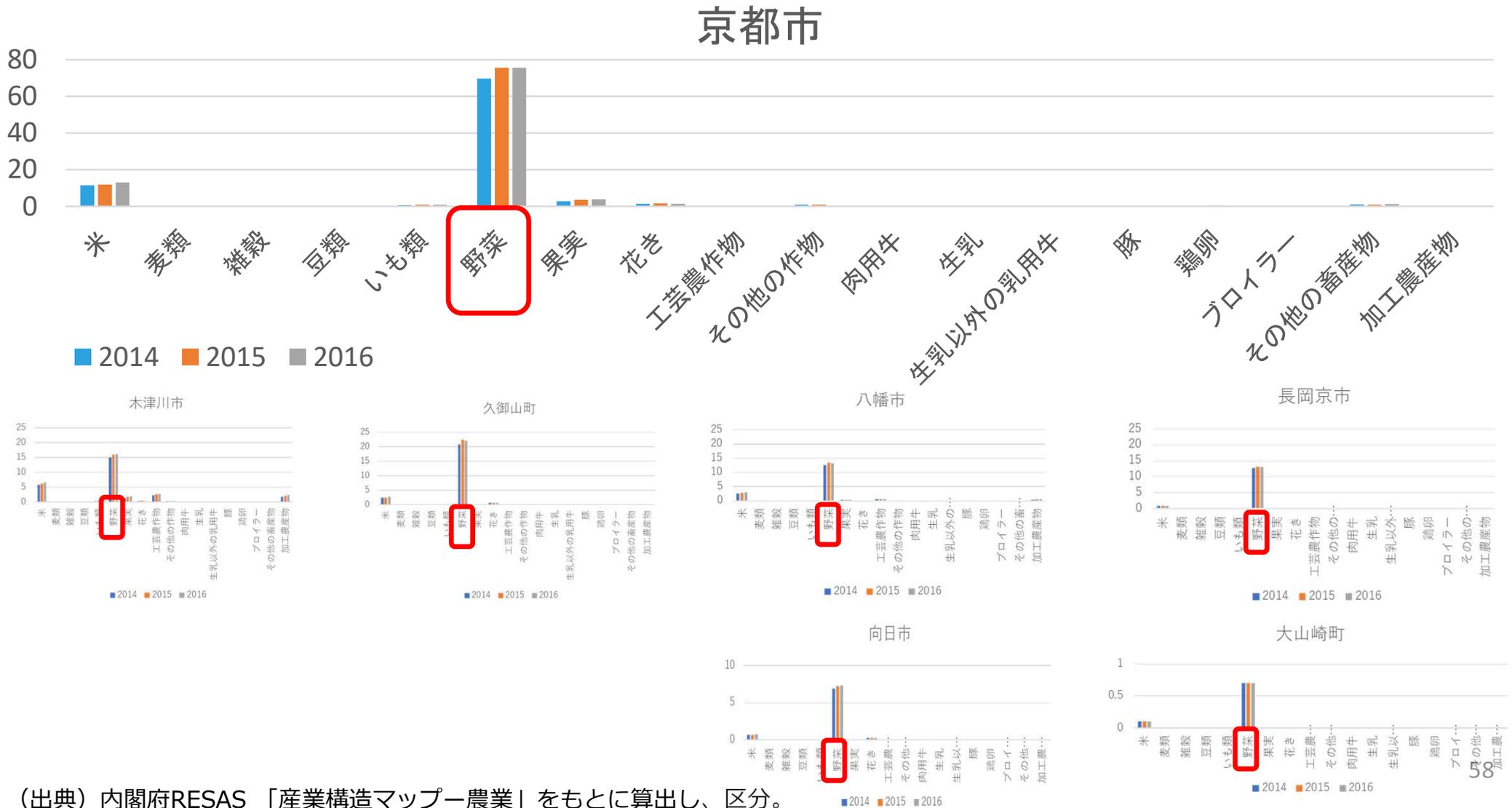
(出典) 内閣府RESAS「産業構造マップー農業」をもとに算出し、区分。

豆知識：何を作っているかは、実は4パターンある

■ ②**野菜のみ**が突出しているパターン。

■ 京都市、木津川市、久御山町、八幡市、長岡京市、向日市、大山崎町

各地域の部門別農業産出額（億円）



(出典) 内閣府RESAS「産業構造マップー農業」をもとに算出し、区分。

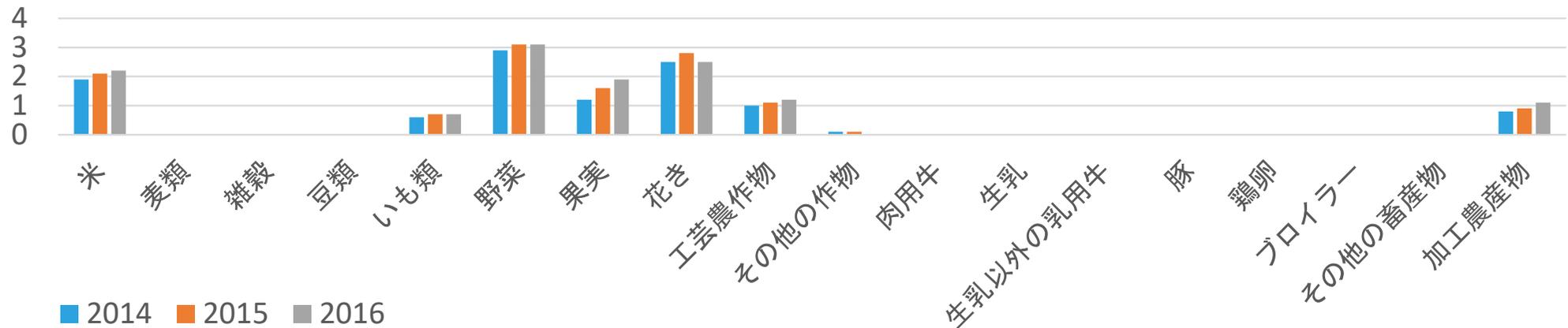
豆知識：何を作っているかは、実は4パターンある

■ ③米・野菜・花き・工芸・加工農産物のバランスが取れているパターン。

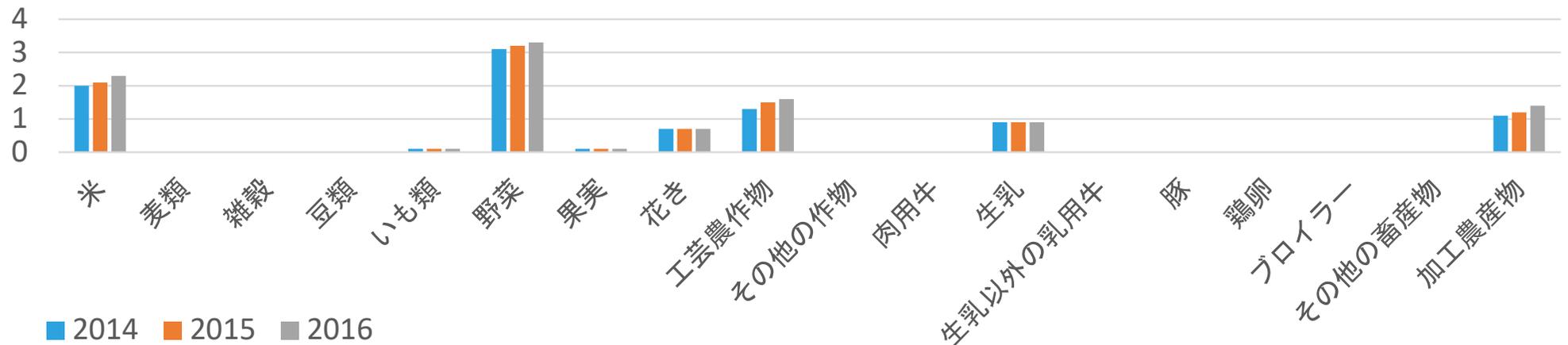
■ 城陽市、宇治市

各地域の部門別農業産出額（億円）

城陽市



宇治市



(出典) 内閣府RESAS「産業構造マップー農業」をもとに算出し、区分。

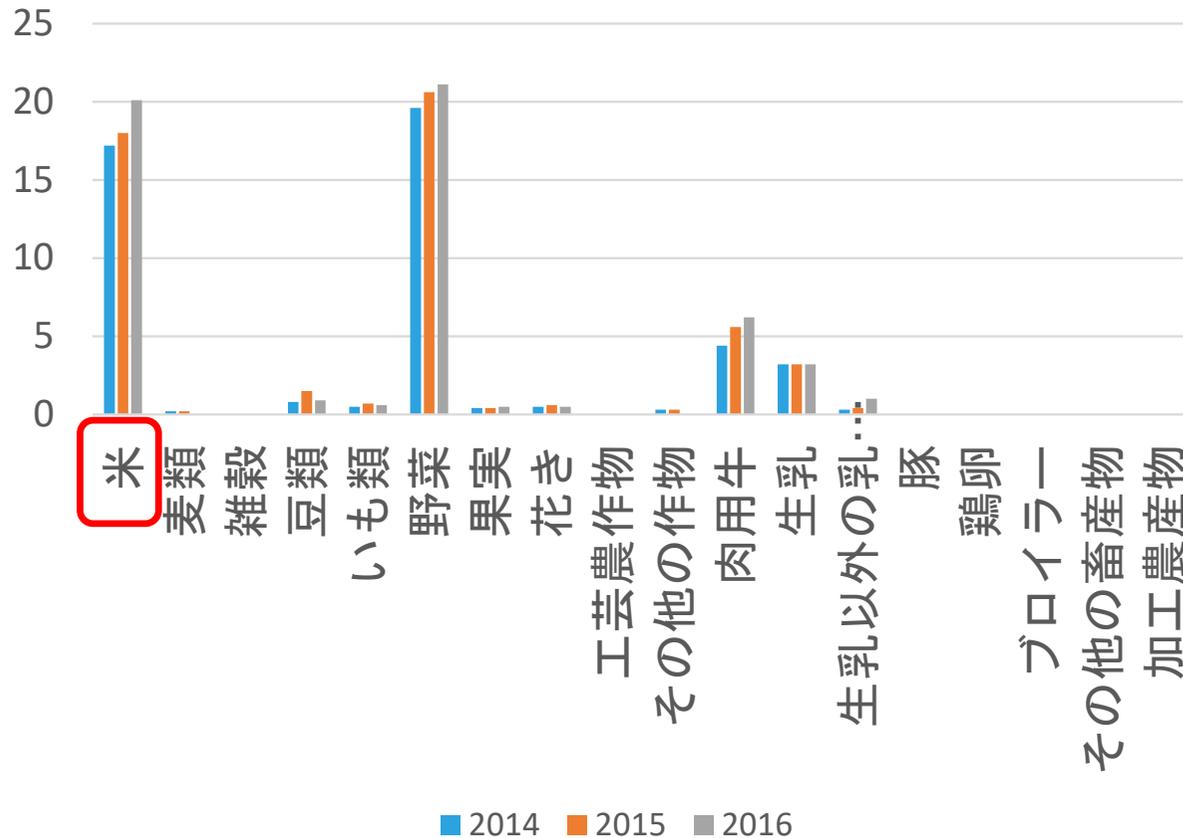
豆知識：何を作っているかは、実は4パターンある

■ ④米の産出額が大きいパターン。

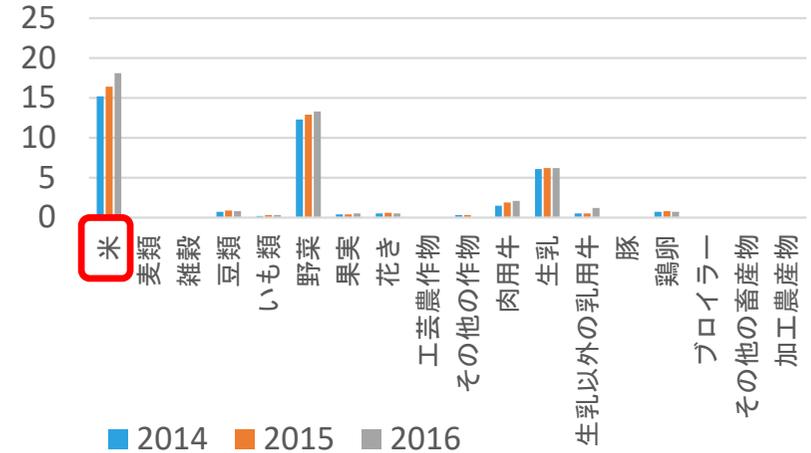
■ 亀岡市、南丹市、京丹波町のほか、福知山市、京丹後市、綾部市、舞鶴市、京田辺市、与謝野町、宮津市、精華町、井手町、伊根町、笠置町

各地域の部門別農業産出額（億円）

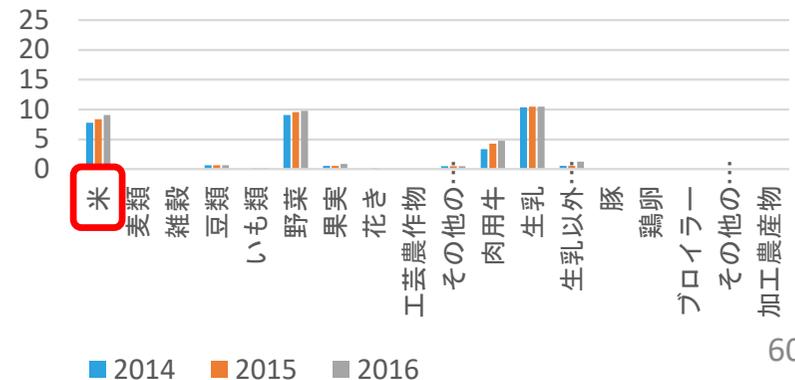
亀岡市



南丹市



京丹波町

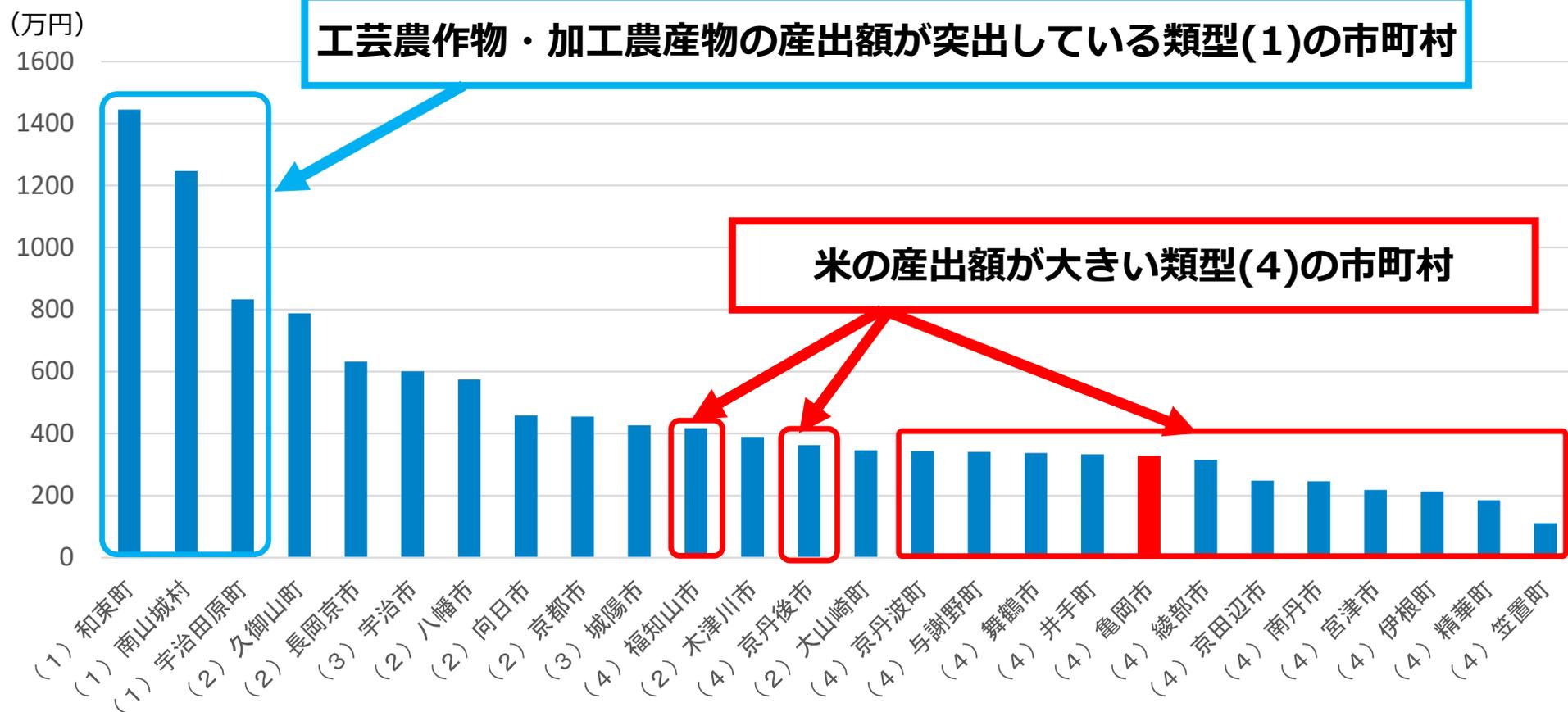


(出典) 内閣府RESAS「産業構造マップー農業」をもとに算出し、区分。

経営体の平均的な産出額（生産性）

- 米の産出額が大きい類型（4）の市町村では、生産性が低い傾向にある。
- これは、米は他作物に比して土地生産性が低いいためと考えられる。

農業経営体あたりの農業産出額（2015年）

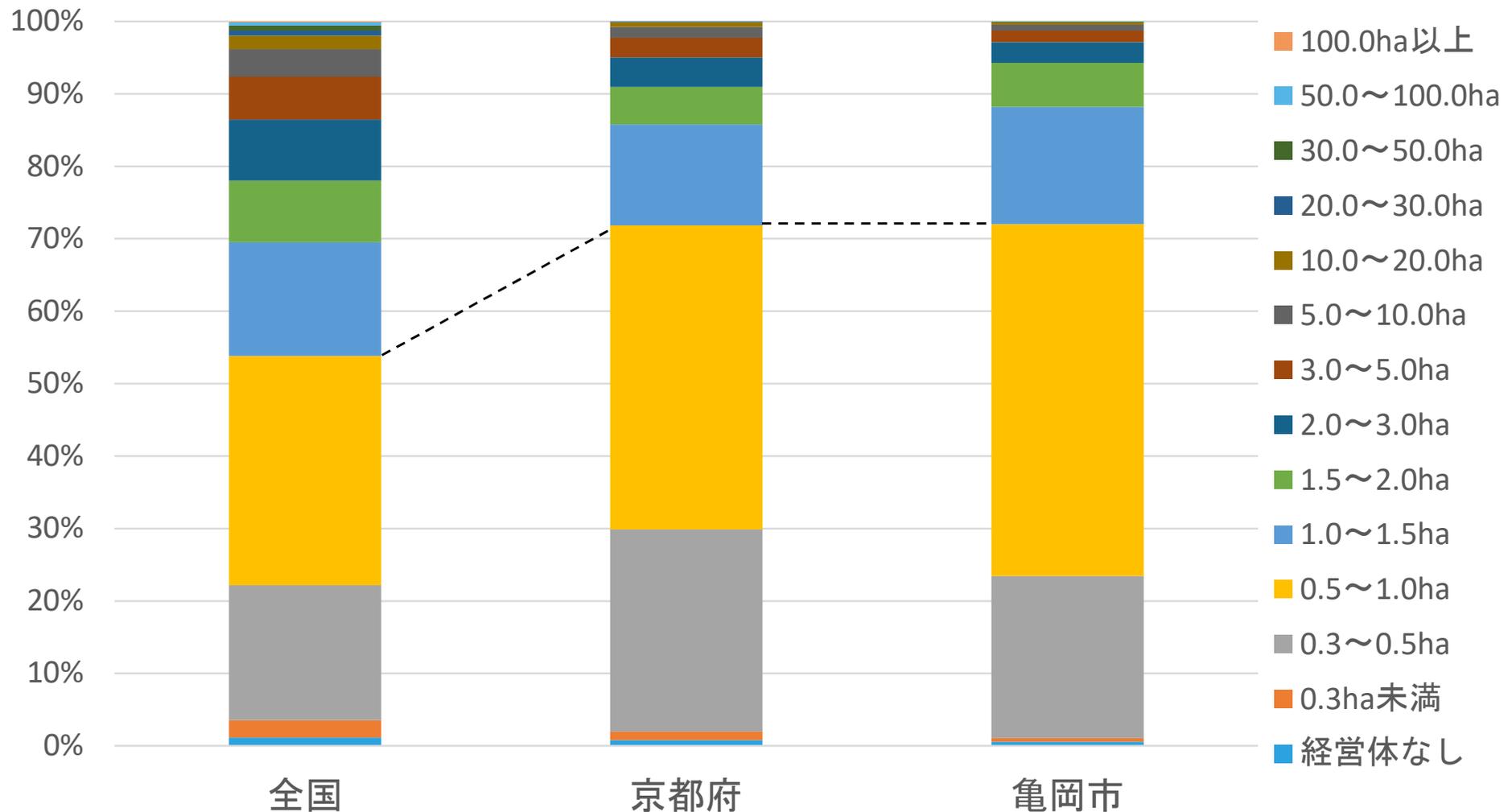


(1)=工芸農作物・加工農産物の産出額が突出している類型、(2)=野菜の産出額のみが突出している類型、
 (3)=米・野菜・花き・工芸・加工農産物のバランスが取れている類型、(4)=米の産出額が大きい（野菜の産出額も同程度に大きい亀岡市・南丹市・京丹波町を含む）類型

経営耕作地の面積

- 全国平均に比べ、1 ha未満の耕地の割合が大きい。
- 京都府平均に比べると、0.5ha未満の耕地の割合が小さい。

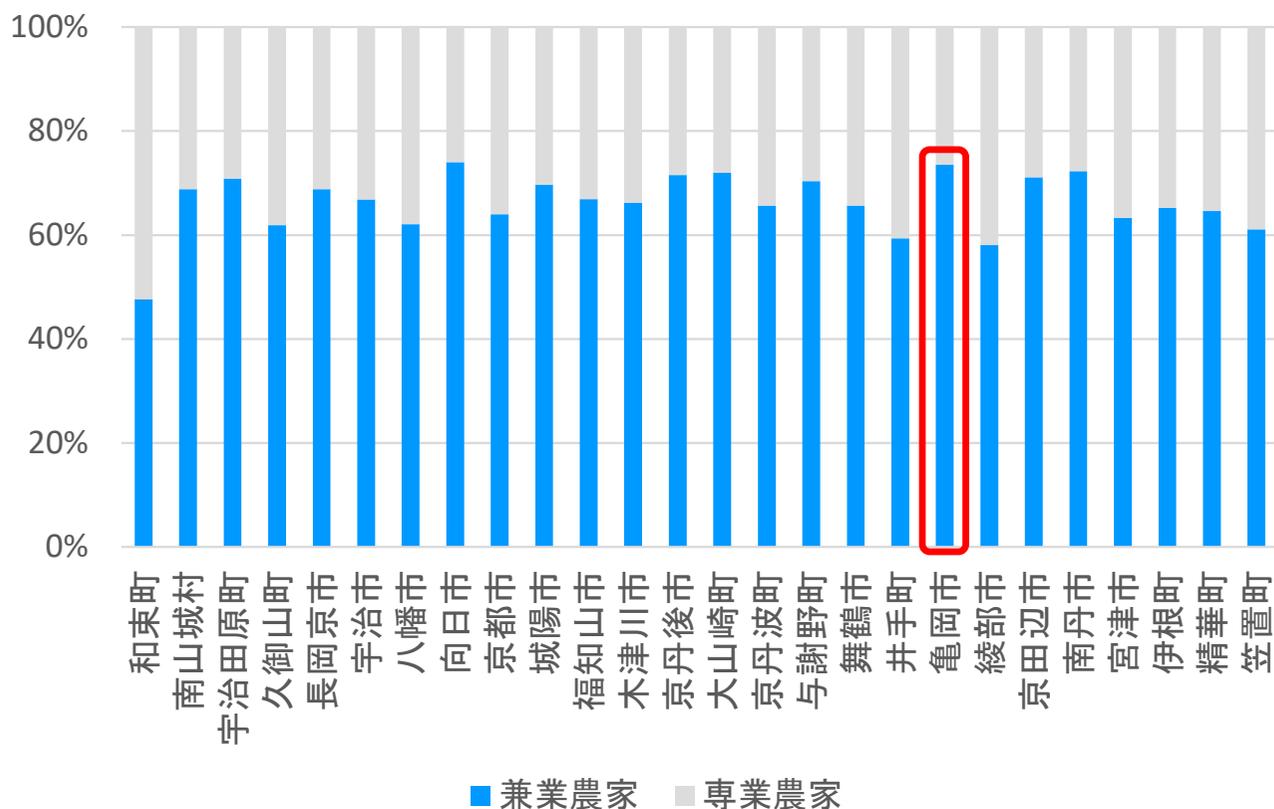
経営耕地面積の大きさ別の割合（2015年）



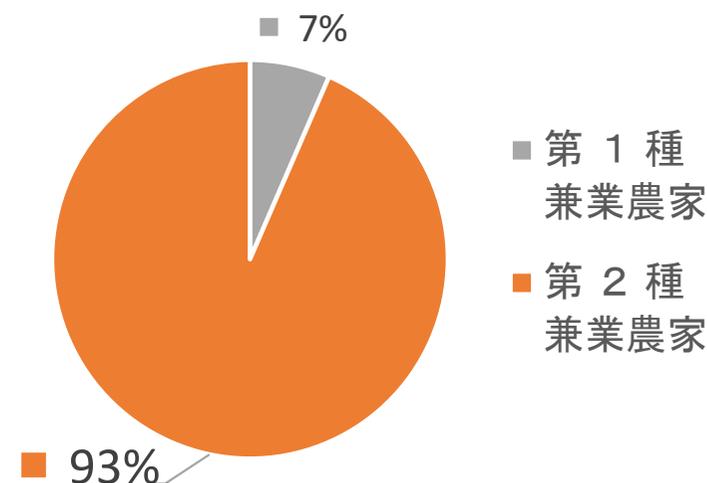
亀岡市における兼業農家の割合

- 販売農家における兼業農家の割合は、**亀岡市は74%で府内トップ**。
- そのうち、**農業所得を従とする農家の割合が圧倒的に多い（93%）**。

京都府内市町村の兼業農家の割合（2015年）



亀岡市の兼業農家構成（〃年）



- ・ 第1種兼業農家＝農業所得を主とする兼業農家
- ・ 第2種兼業農家＝農業所得を従とする兼業農家

- 特徴 1～3 より、亀岡市の農業は、経済合理性以外の要因で維持。
- とくに、**家族やコミュニティ的なつながりが大きい**と考えられる。

① 亀岡市の農業の特徴

1. 兼業農家の割合が府内で最多
2. 1ha未満の耕作地が多い
(生産性は高くない)
3. それでも耕作放棄地が少ない
(全国平均の半分)

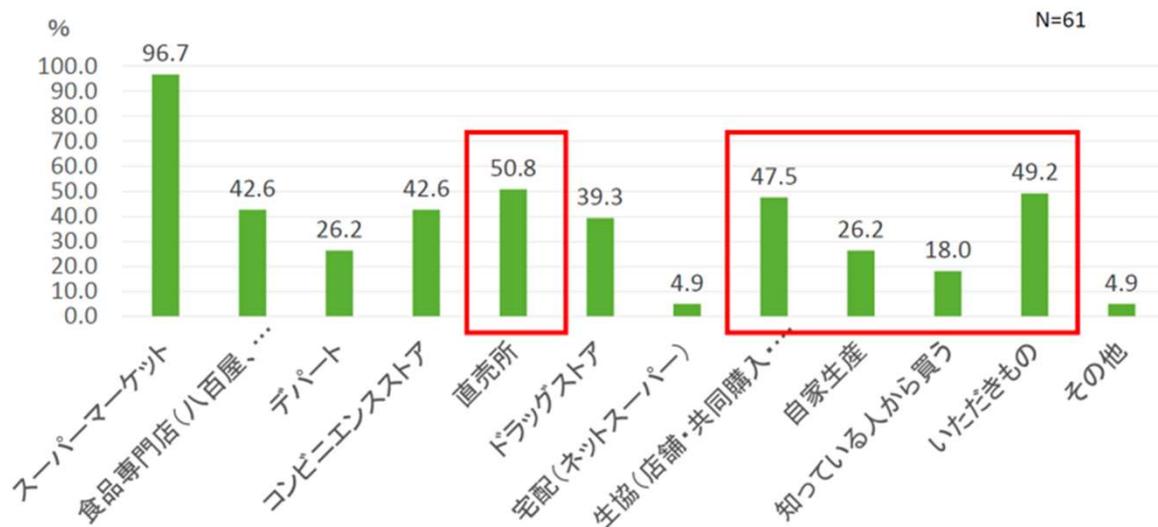
これらの特徴は、高齢化により、**失われつつある!?**

② 子育て世代の食料品の購入経路

子育て世代の食事作りアンケート

10

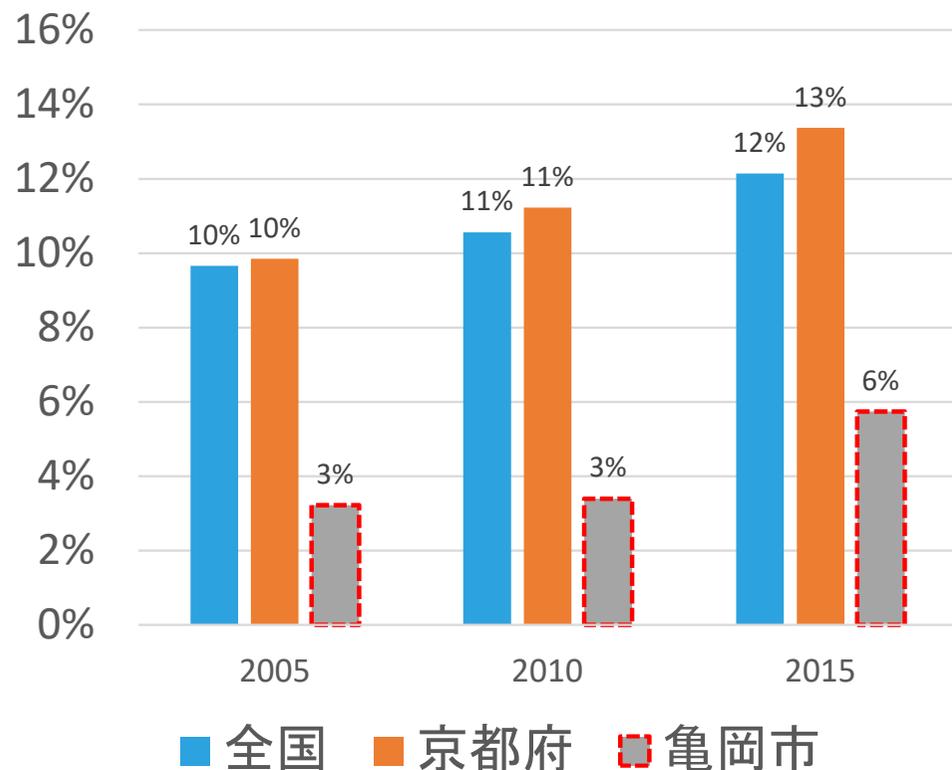
食料品の購入経路(この1年で利用経験のあるもの全て)



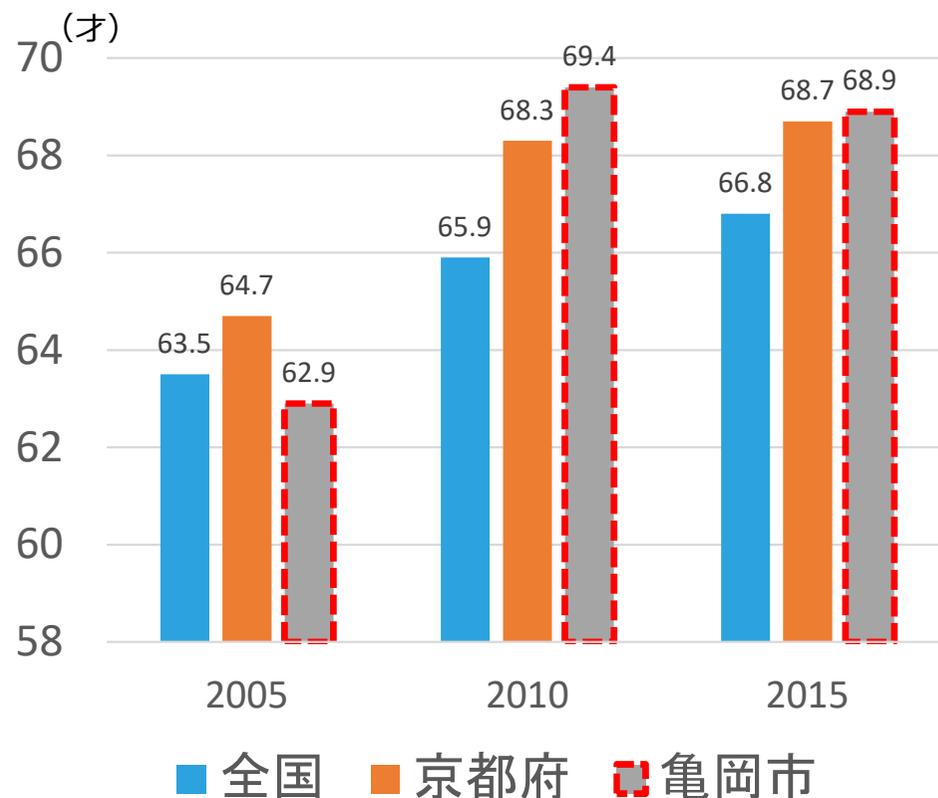
皆さんならどうしますか？

- 亀岡市の耕作放棄地率は全国に比して低い水準だが、近年は倍増。
- なお、市内の経営耕地面積は1,892ha。水田が1,756haで93%を占める。
- また、就業者の平均年齢は、全国・京都府に比べても高齢化が進展。

①耕作放棄地率の推移



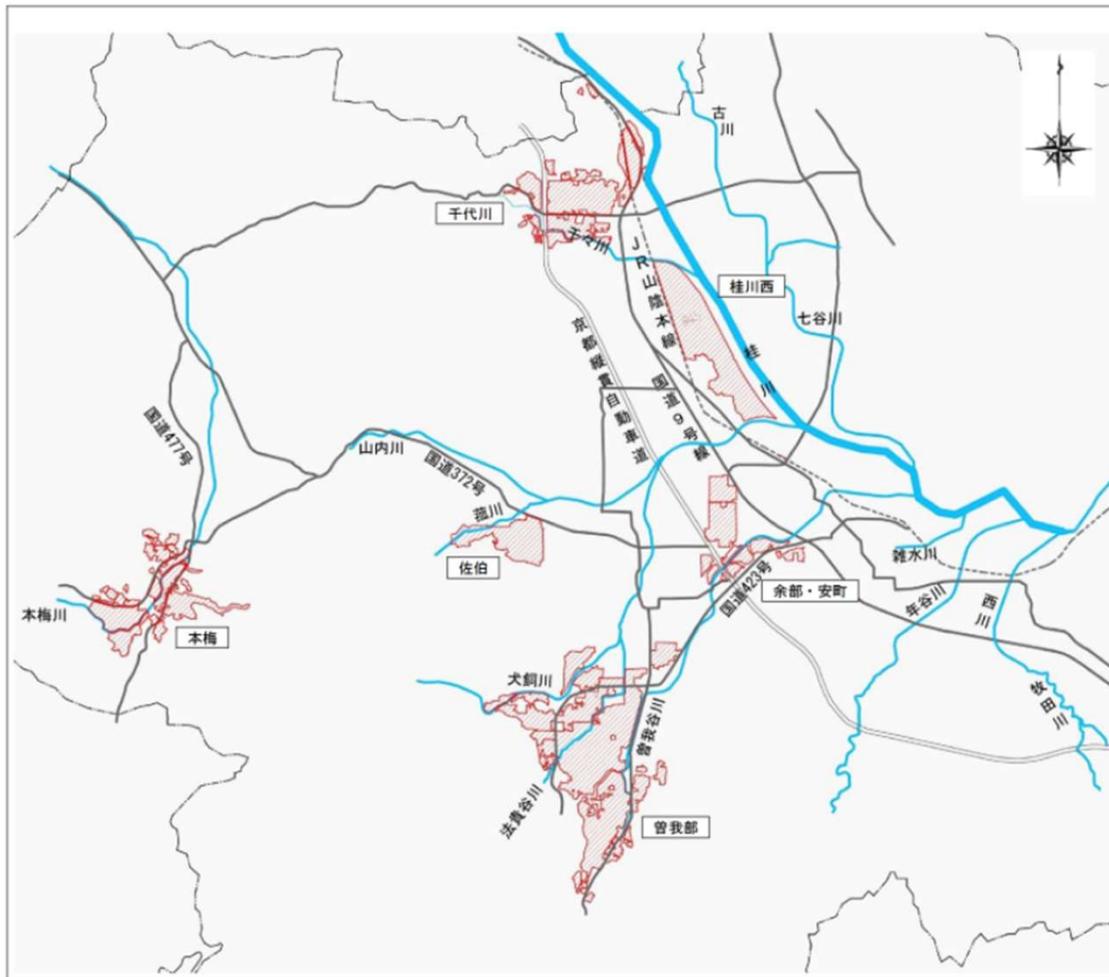
②農業就業者の平均年齢の推移



国営緊急農地再編整備事業

- 狭小で不整形な農地を、**大きな区画に整理**し、道路や用排水路を総合整備。
- 大型機械の導入や農業の担い手の集約を促し、**生産コストを低減**。

国営緊急農地再編整備事業（亀岡中部地区）2014年度～2023年度



本梅工区	58ha
佐伯工区	25ha
曽我部工区	177ha
桂川西工区	68ha
余部・安町工区	40ha
千代川工区	75ha
合計	444ha

スマート農業の推進

- 農事組合法人ほづを実証地区として、**スマート農業**の効果を実証。
- 省力化を進め、非熟練者でも**効率的な作業**ができる環境づくり。

スマート農業加速化実証プロジェクト（京都府農林水産技術センター）

京都新聞 ホーム 京都 滋賀 観光 スポーツ 社会 文化・ライフ 政治

収穫と同時に食味測定、無人トラクターで耕運 「スマート農業」実証実験

2019年11月6日 21:37

Twitter Facebook Blogger



無人の自動運転で耕運作業を行うトラクター。人が近づくとセンサーで止まる（京都府亀岡市保津町）

自動田植え機などで省力・効率化する「スマート農業」の普及を目指し、京都府は6日、亀岡市の農場で無人トラクターによる耕運作業や、収穫と同時に食味などを測定する最新農機の実演会を行った。

農場は農事組合法人ほづの水田24ヘクタールで、同法人は今春から農機メーカーや府などと水稲生産のスマート化の実証実験を行っている。6月には自動田植え機やドローンによる農薬散布を実演した。今回は農業関係者ら約100人が集まった。

無人で動くトラクターは、事前に田んぼの形状を記憶させると、衛星利用測位システム（GPS）や地上の基地局と通信し、自動で作業を進めた。稲を刈り取りながら食味や水分量をセンサーで測るコンバインも実演した。

メーカー担当者は「食味の良いコメを集めて高付加価値米として販売したり、来年の生産の参考にしたりできる」と説明。同法人の酒井省五代表理事は半年間の実証を踏まえ「大幅に農作業の負担が減った。将来は子育て中の女性に数時間働いてもらうことも検討したい」と期待を込めた。

耕うん	GPS自動操舵システムを備えた自動走行トラクター
田植え	直進キープ機能付き田植機
水管理	水位センサーとリンクした自動給水システム
栽培管理	アプリを活用した生育診断
防除・施肥	ドローンによる散布
収穫、乾燥	食味・収量センサー付きコンバイン

企業と連携した商品開発

■石井食品と地元生産者・竹岡醤油とが連携し、亀岡市曽我部町で特産物として復活した〇曽玉ねぎを使った「ハンバーグ」と「スープ」を開発。

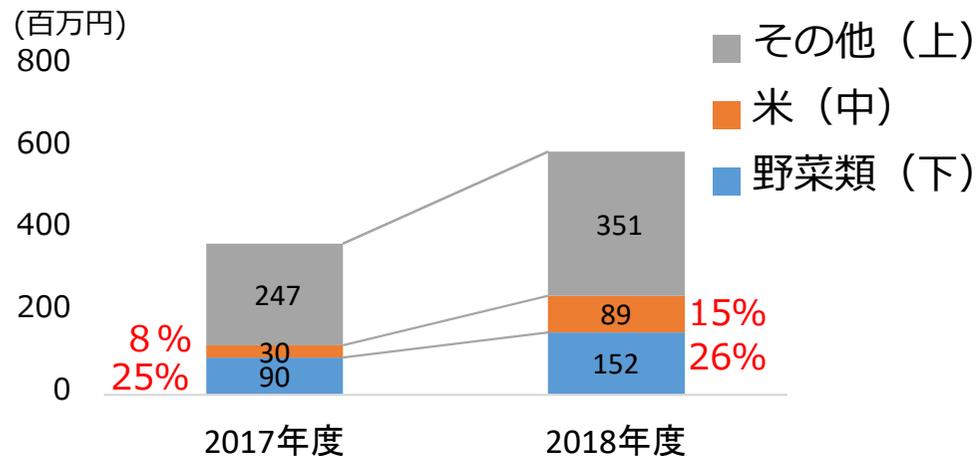
曽我部町「〇曽（まるそ）玉ねぎ」を使った石井食品の新商品（2019年）



良い野菜、加工品をふるさと納税で展開

- 亀岡市のふるさと納税は2年連続で府内トップ。2020年に10億円突破。
- 人気返礼品の4割以上を農産物が占め、加工品開発も促進。

①ふるさと納税の実績（金額ベース）



〈人気返礼品の例〉

- ・ 有機野菜セット
- ・ 旬の野菜の定期便
- ・ 亀岡牛
- ・ キヌヒカリ、コシヒカリ
- ・ おせち

②地元食材を活用した「おせち」企画



- ・ 食材、調味料、製法にいたるまで、全て京都丹波産のおせち

寄付額：5万円



- ・ 市内直売所から材料を仕入れた、京都の高級料亭による限定おせち

寄付額：8万円

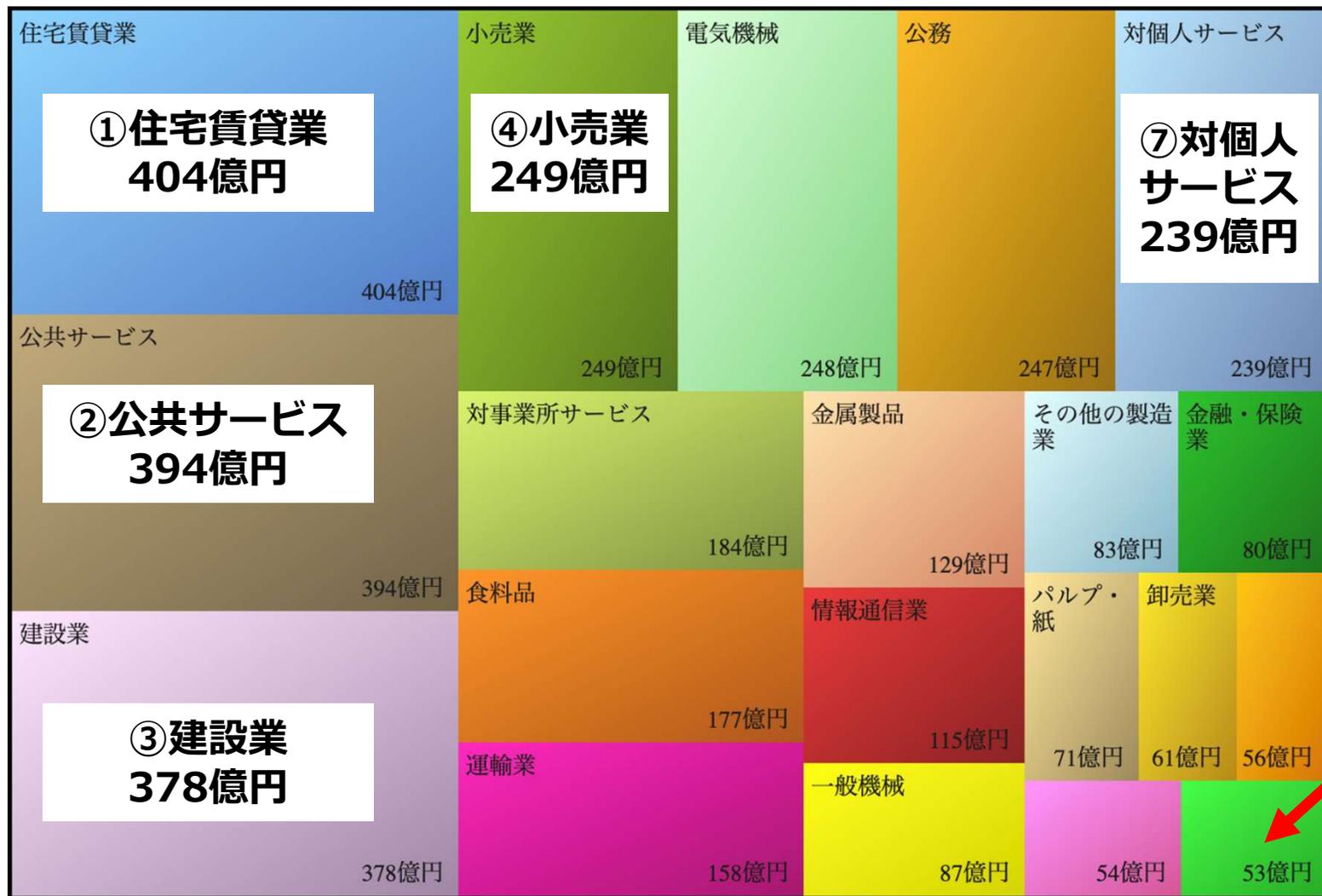
地域に資金／資源が循環 する戦略3

エコシステム

経済から見る農業

- ベッドタウン化を背景に、「人口」をあてにした経済が中心。
- 他方、亀岡市の経済全体に占める農業の生産額は、1%以下。

亀岡市の各産業（中分類）の生産額（2013年）



**農業
53億円**

経済以外に見るべき側面（例：農業）

- 特徴 1～3 より、亀岡市の農業は、経済合理性以外の要因で維持。
- とくに、**家族やコミュニティ的なつながりが大きい**と考えられる。

① 亀岡市の農業の特徴

1. 兼業農家の割合が府内で最多
2. 1ha未満の耕作地が多い
(生産性は高くない)
3. それでも耕作放棄地が少ない
(全国平均の半分)

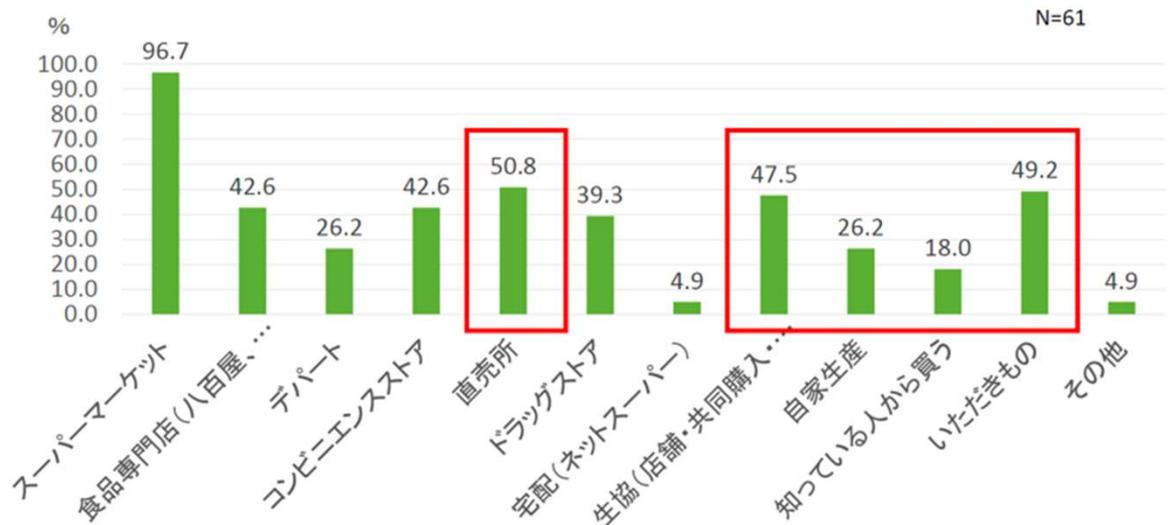
これらの特徴は、高齡化により、
失われつつある!?

② 子育て世代の食料品の購入経路

子育て世代の食事作りアンケート

10

食料品の購入経路(この1年で利用経験のあるもの全て)



かめおか霧の芸術祭 ^{エックス} × ^{かける} X

～持続可能性を生み出すイノベーションハブ～



京都府 亀岡市

- アートの力を活かし地域課題を解決する芸術祭へ。
- 各プロジェクトを通年でを行い、亀岡への見方／地域の姿を変えていく。

地域の課題

人口規模に比べ**地域経済**は不活発

- ・ 日中の滞在人口が平日・休日ともに少ない
- ・ 「地域で作られた商品」を買える場がない

地域を象徴する**農業**は衰退の危機

- ・ 農業所得が低く、耕作放棄地率が高まる
- ・ 後継者の獲得や販売促進策が必要

観光は主要観光地に依存

- ・ 日帰り客の消費単価が低い
- ・ 観光客数に季節性があり、1・2月に激減

環境への取組みは浸透不足

- ・ コミュニティごとに環境意識に大きな差
- ・ 「誰もがわかる環境への取組み」が必要

芸術祭の各プロジェクト

地域経済×アート（政策提言1）

- ・ 亀岡ならではのコトとモノとを掛け合わせたマーケットづくり

農業×アート（政策提言2）

- ・ 栽培方法にこだわる農家、丹精込めた野菜、それを買うファンが出会う場づくり

観光×アート（政策提言3）

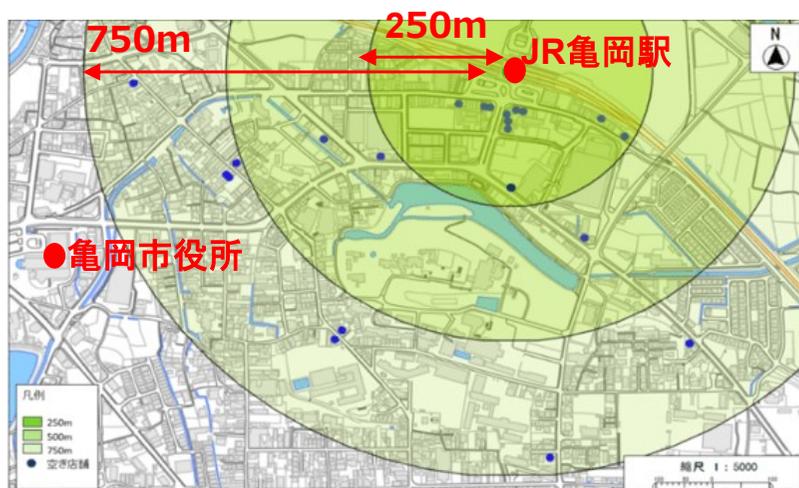
- ・ 「100人のファンが100回」来たくなる仕組みづくり

環境×アート（政策提言4）

- ・ 環境をテーマにした作品とロゴマークを通じた「亀岡市のブランド」づくり

- ロードサイドに比べ、市の中心部（駅前）で空き店舗が目立つ。
- 消費者からすれば、「地域で作られた商品」を買える場所が少ない。

①市の中心部における空き店舗の状況



- ・ 2019年9月3日フィールドワーク調査
- 市の中心部であるJR亀岡駅前から半径750m圏内で、**空き店舗は25軒**
- 半径250m圏内に限っても、**空き店舗は11軒**

まちづくりマップ> 流動人口メッシュ

②関西で展開する飲食企業50社からの主な声

- ・ 2018年8月～2019年8月ヒアリング調査
- ・ **駅前での出店を望まない49社**。理由として、
— 商圈人口が小さく、採算をとることが難しい
— 車の交通量も多くないため、国道9号線沿いのロードサイド出店の方が圧倒的に優位

③亀岡市の流動人口メッシュ



- 亀岡ならではのコトとモノとを掛け合わせたマーケット。
- 購入額4,000円以上の参加客が18%となり、コアなファンを獲得。



・ 地域の木材や土等から手作りされたクラフト品



・ 地域の食材で仕立てた料理やお菓子、保存食



・ 地域をめぐり自分だけの本を創るワークショップ



・ 食やものづくりと一緒に楽しめるライブ空間

②実施結果

	第1回 (19年3月)	第2回 (19年9月)
出店者数	36	44
総売上げ	104万円	162万円
参加者数	1,300人	1,500人

③来場者へのアンケート (9月実施。回答67名)

①同伴者	家族・友人との来場 (83%)
②楽しんだテーマ	2つまたは3つ以上ある (63%)
③滞在時間	4時間以上 (15%)
④購入額	4,000円以上 (18%)

※観光客一人あたりの消費額は1,603円 (2018年)

- 栽培方法にこだわる農家はアーティスト、丹精込めた野菜は作品。
- 参加客が「楽しく」「おいしく」野菜の魅力を味わえる場づくり。



・ 有機野菜の収穫と稲刈り後、収穫した野菜で昼食会



・ 八百屋から近年の野菜事情や農家の変化を共有



・ 野菜の美味しい食べ方を知る農家のカレー



・ 農作業時に聴く曲、農作業後に奏でる曲の弾き語り

①実施結果 (2019.8～9)

やおやおやプログラム名	参加人数	売上額
A 野菜とカレーと古本市	50人	70,000円
B 野菜収穫と稲刈りとランチ会	35人	32,000円
C 野菜と野菜のまわりの話	15人	17,000円
D 野菜と音楽	24人	16,000円
E 野菜と食堂	50人	34,000円

②亀岡産の野菜について (回答81名)

意識して購入している

55 %



7 %

■ 市内参加者 (左)

■ 市外参加者 (右)

割高でも美味しければ購入する

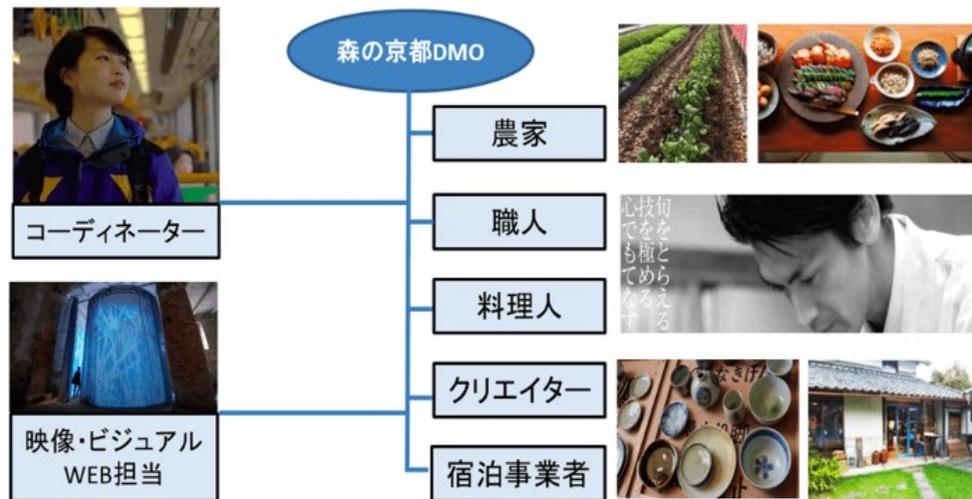
67 %



23 %

- 1万人の客が1回でなく、「100人のファンが100回」来たくなる地域へ。
- 亀岡との関わりを持ち続け、再び亀岡を訪れる仕組みづくり。

①観光コンテンツ・物販を運営する主体の立ち上げ



- ・ 亀岡アグリツーリズム振興協議会の立ち上げ（2019年9月）
- ・ 農業の繁閑や季節性も考慮しつつ、通年で複数のツアーメニューを用意し、発信予定
- ・ 滞在時間や消費を伸ばすため、農業だけでなく、「食」「ものづくり」「宿泊」と結びつけ

②芸術祭の時間をとじこめた「霧ノタマテ箱」の商品化

(箱イメージ)



(中身イメージ)



(中身の具体例)

- ・ 陶器カップと自分で作るパン用プレートをしまい、パンを探しに再訪するタマテ箱
- ・ 陶器の皿とカレーセットが入っており、木製スプーン作りに亀岡に来るタマテ箱

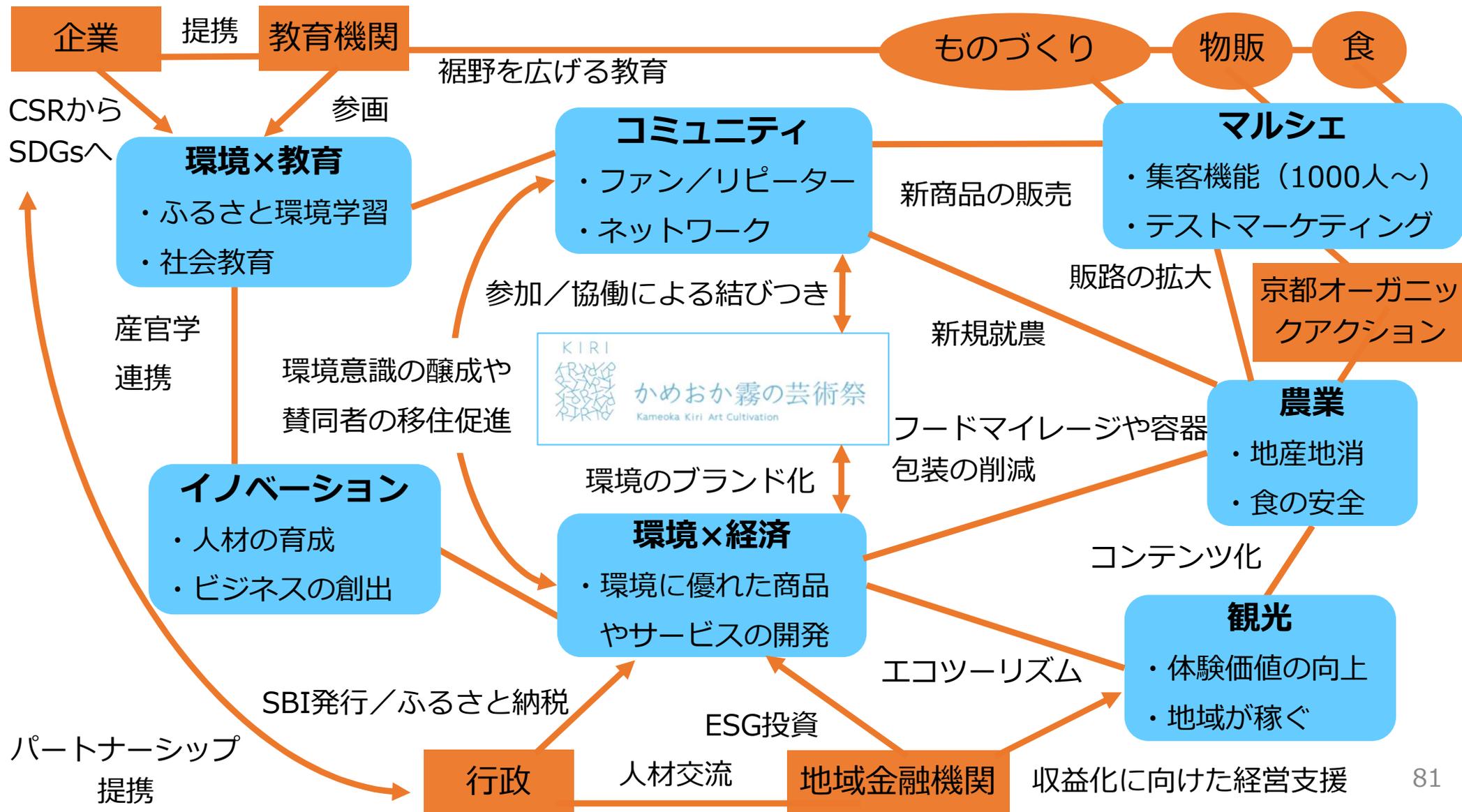
- アートの中で環境の取組みを「作品」に。
- 市民参加やクラウドファンディングも取り入れ、支持を増やす。

アートとコラボした環境政策—FLY BAG Project



- ・ 一定年数の経過に伴い、新品同然でも廃棄されてしまうパラグライダー生地に着目
- ・ 当生地を用いて、巨大エコバッグを制作し、本年7月に屋外展示
- ・ これに市民200人が型紙をあて、世界に一つだけのオリジナルエコバッグを10月に製作
- ・ 全行程において、若者から「かわいい」と支持を集めるデザイナーが監修・品質管理
- ・ PRもかねて、資金調達を楽天クラウドファンディングで実施（2,000万円超を獲得）

- 芸術祭を軸とした循環的な経済圏（エコシステム）を創り出す。
- マルシェ・農業・食・観光・環境などが有機的に結びつく。



亀岡市の課題と戦略 (まとめ)

■ これからの20年間の人口減少 = ①生産年齢人口の減少と②高齢化率の上昇

<データから見通せる課題>

財政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市税の4割を占める市民税が減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生費の割合は増加し、財政は硬直化(対策例) 健康寿命の延伸
経済	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者が減り、第3次産業は撤退 ・ 第1次/第2次産業での担い手不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域や経済を変革するアイデアは通りにくくなる

戦略1

ヒトや企業の「集積地」を作る
(=住む/働く/楽しみにくる)

理由

人が集まらないところは経済活動が成り立たず、必衰する

取り組み例

駅前開発、企業誘致
(京都先端大との産学連携)

戦略2

外からの「資金流入」を促す
(=ヨソモノが買いたい/来たい)

理由

地域の人口が減少する以上、地域の外から資金を稼ぐ必要

取り組み例

文化芸術、農業、観光、環境
京都先端大との産学連携

ふるさと納税

戦略3

まち全体での「地産地消」を促す
(=呼びかけよりも仕組みづくり)

理由

どれだけ稼いでも、地域の外に資金流出してては豊かになれない

取り組み例

地域循環共生圏づくり
コミュニティ形成、SDGs

■ 20年後に向けた長期的な取り組み = ①人材育成と②出生率の上昇 のための投資
(分野例) 教育や子育て支援

課題と対策の例（赴任中に特に感じたこと）

1. 人手不足（後継者不足、担い手不足）

- ①働き手を増やすために：（例）外国人労働者の受入れ増、女性活躍、フレックス労働制、定年延長・シルバー人材の活用
- ②一人がこなせる仕事量を増やす：（例）機械化・AIの導入、兼業・副業の解禁

2. イノベーションや変革の遅滞

- ①社会の変革を促すために：（例）選挙権の拡大、ICTの推進、起業や創業の奨励、多様な人材の活躍
- ②企業の変革を促すために：（例）年功序列・終身雇用制度の廃止

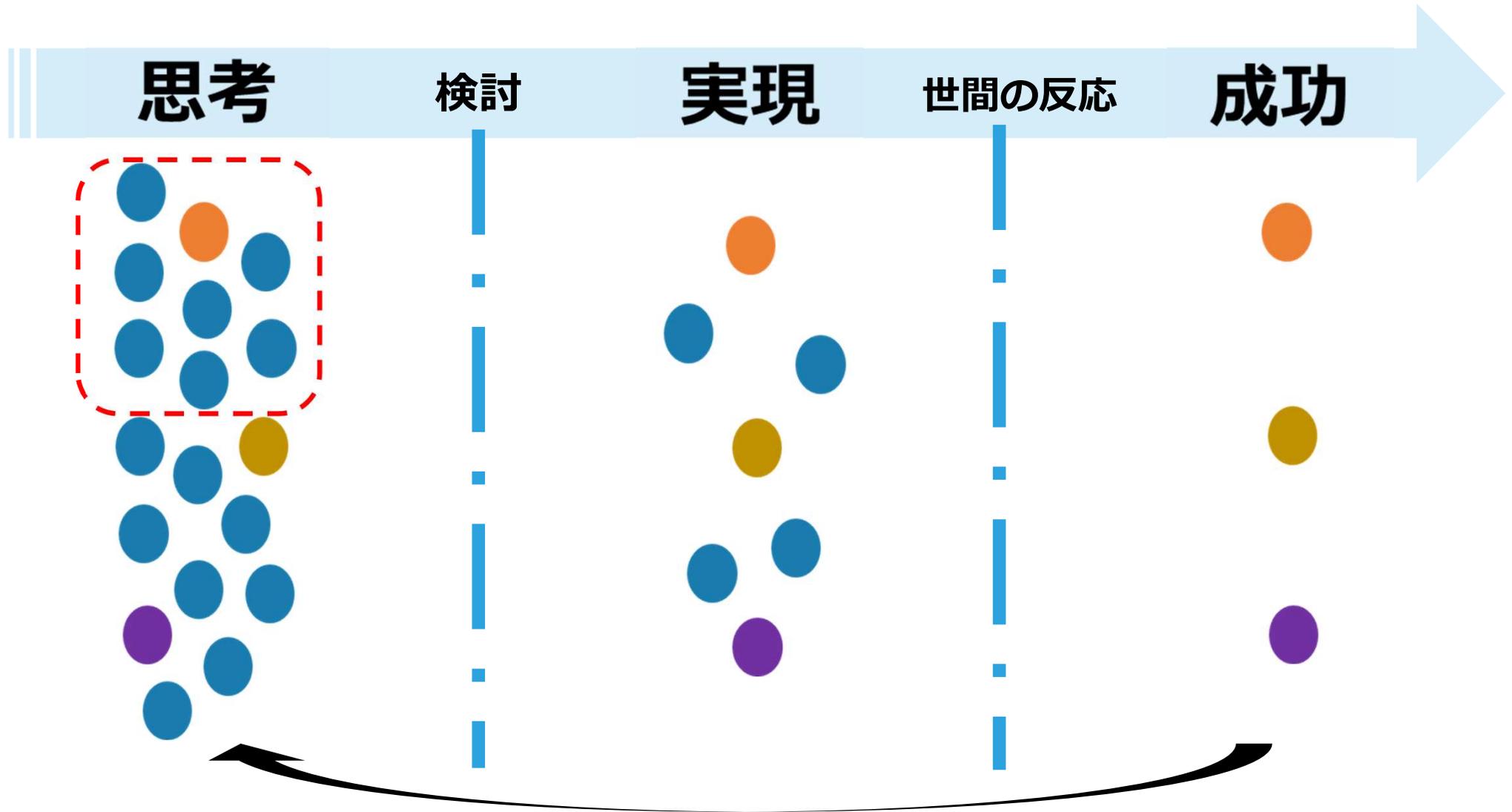
3. 政府の財政難（コスト増、税収減）

今後20年間は確実視されている「人口減少・高齢化」。これに耐えうる社会・産業・財政構造にするために、「未来」を見ながら、課題に向き合う（戦略的な選択や判断）

■ 高齢化が進んでいたり、地域経済循環率の低い地域は、所得に占める財政移転（交付税＋国庫支出金）の割合が高い傾向。

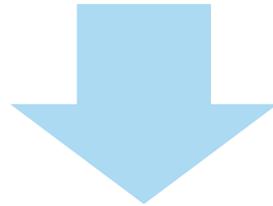
	所得に対する財政移転 2013年 (%)	高齢化率 2015年 (%)	地域経済循環率 2013年 (%)	昼夜間人口比率 2015年 (%)
長岡京市	3.2	25.7	99.1	91.6
京田辺市	3.5	22.5	96.8	100.1
京都市	3.6	25.8	105.0	109.0
舞鶴市	3.7	30.3	109.0	98.5
宇治市	4.1	26.8	87.5	88.1
八幡市	5.6	28.2	★75.8	88.4
福知山市	5.8	28.9	105.1	105.5
向日市	6.0	26.8	★64.3	80.3
城陽市	6.0	★31.1	★64.8	82.7
綾部市	6.5	★36.8	90.4	103.0
亀岡市	7.2	26.2	★70.5	85.5
木津川市	7.9	22.9	★64.4	78.7
宮津市	8.5	★40.0	92.3	106.9
南丹市	8.8	★33.1	92.8	104.5
京丹後市	11.1	★35.3	78.5	97.0

成功するアイデアが生まれるまで



※マーケットインやニーズ把握が重要（だが、限界はある）

人口**減少** ⇒ アイデアの総量が**減る**



アイデアが減らないようにするには？



- ①勉強する機会をつくる（インプット）
- ②考えをすぐに形にする（アウトプット）
- ③考えを掛け算できる場をつくる（**交流**）

亀岡市での試み（インプット、アウトプット、交流）

地方公共団体の部

常識の斜め上をいく「かめおか霧の芸術祭」



職員4名と出場した政策
コンテストで全国優勝
(2019年12月)



所属／チーム名等

京都府亀岡市役所
地方創生ラボ

個人名

仲山徳音、宮本敦、曾我部育、湯浅邦啓、永本恭平

政策提言をもとに、市役所内に**イノベーション=交流の
拠点/アトリエ**を整備（2021年4月完成予定）



国家単位、社会全体の
レベルで考えると
何が重要となる？

熱や共感を大事に（RESASがはじめの一步）

組織や仲間が応援してくれないと無理

（カネ、時間、知識、モチベーション…）

熱の生じないプロジェクトは進まない

（やって得する or やって楽しい）



失敗事例 = 人や組織を動かせなかった



共感・協働できるチームづくり（亀岡市）